CHO-CHO-FAMICOM

箭本進一
阿部広樹
多根清史

超超ファミコン

太田出版

特別企画

堀井雄二、ファミコン神拳を語る

INTERVIEW WITH YUJI HORII
ABOUT"FIST OF FAMICOM"

文＝多根清史

©2012-2014
ARMOR PROJECT/BIRD STUDIO/
SQUARE ENIX All Rights Reserved.

ポパイ

ジャンル
アクション

メーカー
任天堂

発売日
83.7.15

定価
3,800円

アメリカのマンガ『ポパイ』をテーマとしたアクションゲーム。主人公のポパイを操作し、天敵ブルーとや恋路を邪魔する敵の攻撃を避けながら、恋人オリーブの投げる音符やハートをすべてキャッチする。ポパイは原作通りほうれん草を取れば無敵となってブルートをやっつけられるほか、パンチングボールをパンチして桶をブルートにぶつけたり、ジャンプ台で飛び上がれたりと画面上のギミックも凝っている。

ほうれん草を食べたポパイのパンチでぶっ飛ぶブルート。
ハートや音符をポパイから遠いところにばら撒く
オリーブが何気に鬼嫁だ。

船の上でもオリーブのために戦うポパイ。
ポパイ・ザ・セーラーマン～と歌ってるように
水夫の設定ですが、泳ぐシーンはありません。

ドンキーコングJR.の算数遊び

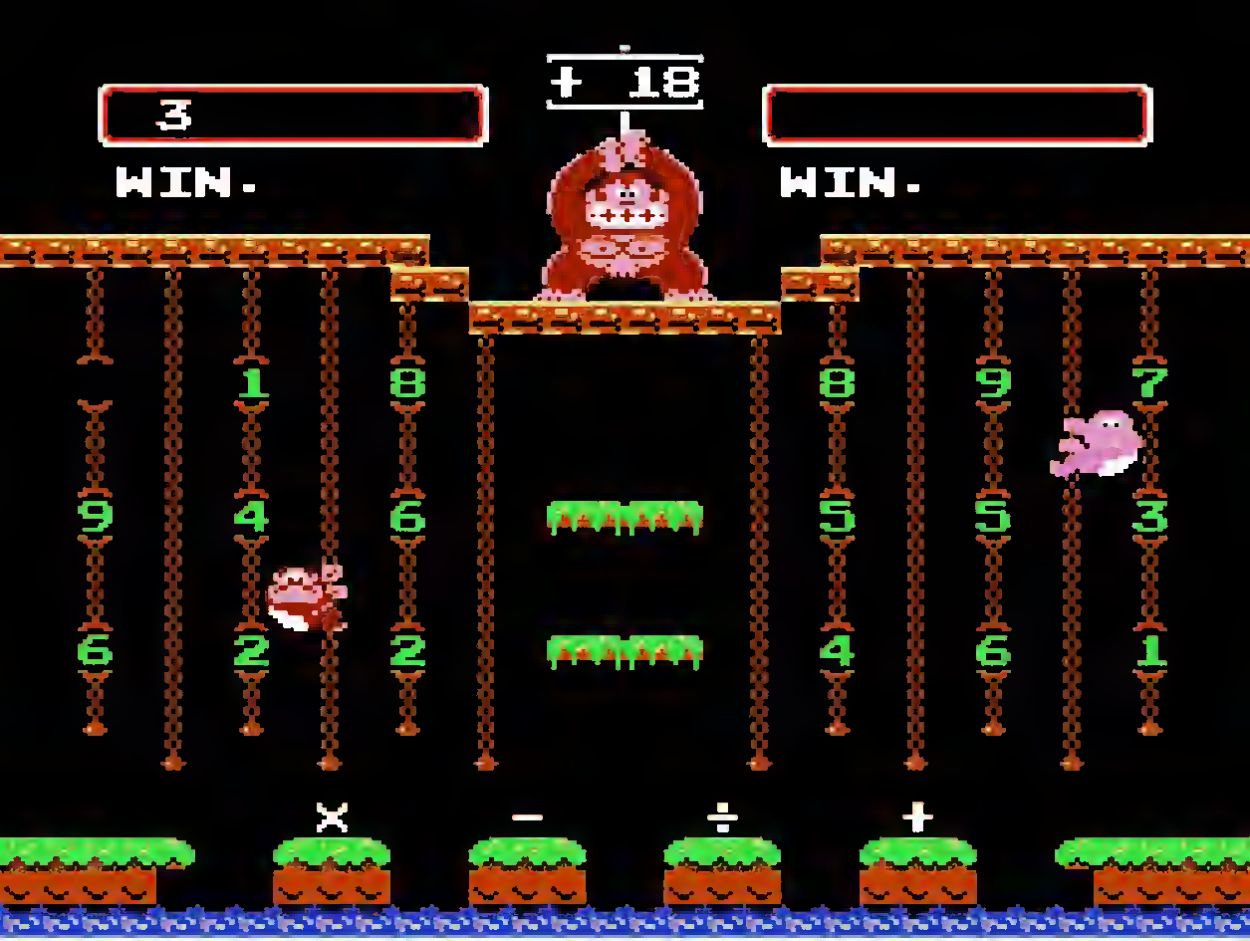
ジャンル
算数アクション

メーカー
任天堂

発売日
83.12.12

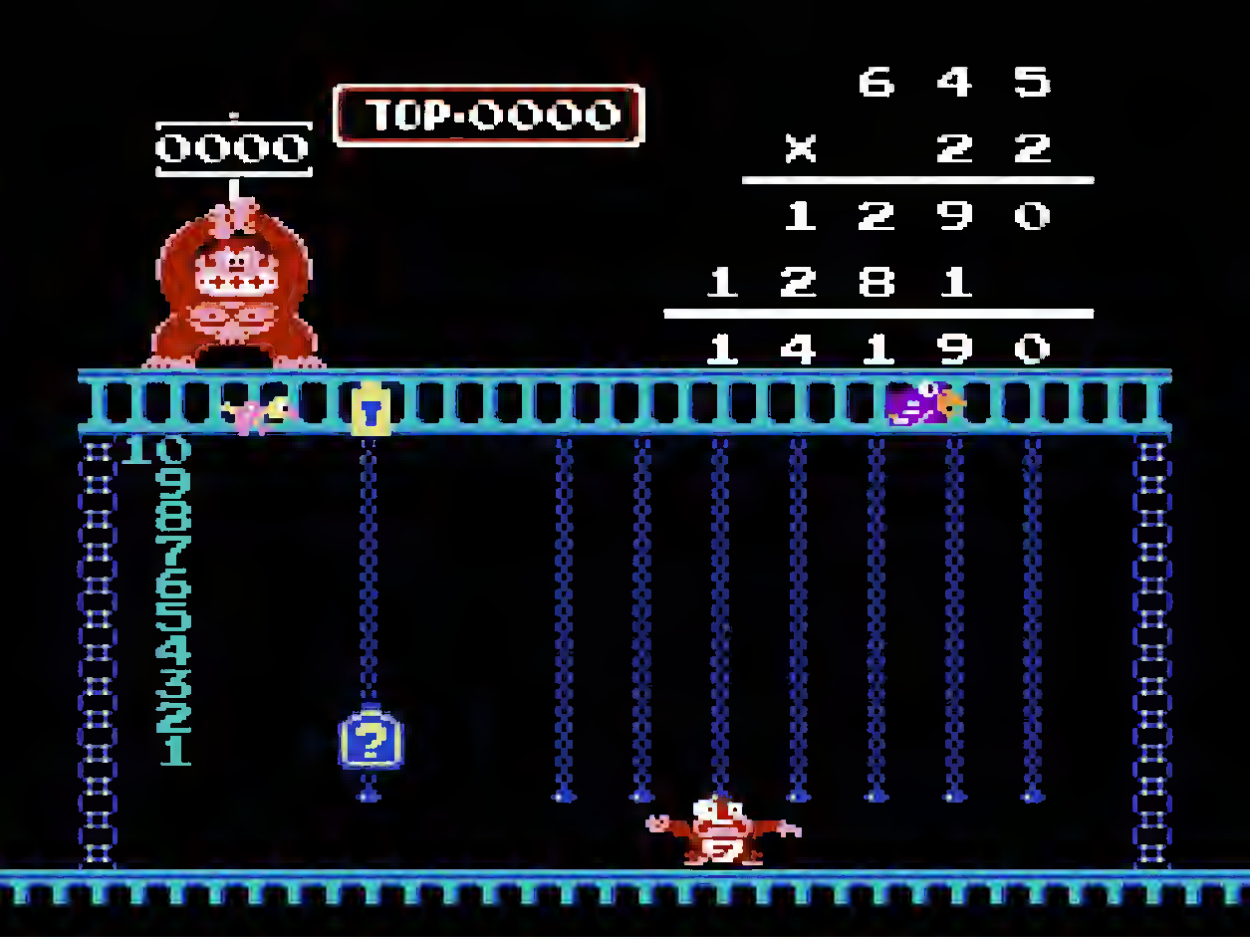
定価
4,500円

ドンキーコングの息子、ジュニアを操り、計算問題を解いていく。ジャンルとしては学習ソフトとなるのだが、ふたりでの対戦がメインになっており、互いに妨害し合うことができる、計算バトルとでもいうべきゲームデザインが特徴的だ。ステージのデザインなどは、前年にアーケード用としてリリースされた『ドンキーコングJR.』を踏襲しており、そうした意味でも変わり種。



鎖の上の数字と、島に置かれた演算記号を集め、
ドンキーコングが掲げる答えになるよう組み立てる。
この場合「×」と「6」を取ればOKだ。

場合によっては、お題の数字が大きくなり、
このようにマイナスが混じることもある。
1Pが先に答えを出したため、2Pが驚いている。



右上にある数式の空き部分を埋める「＋－×÷ EXRCISE」。
計算の途中経過も正しくなければならないわけで、
計算機によるズルも不可能だ。

ドンキーコング3

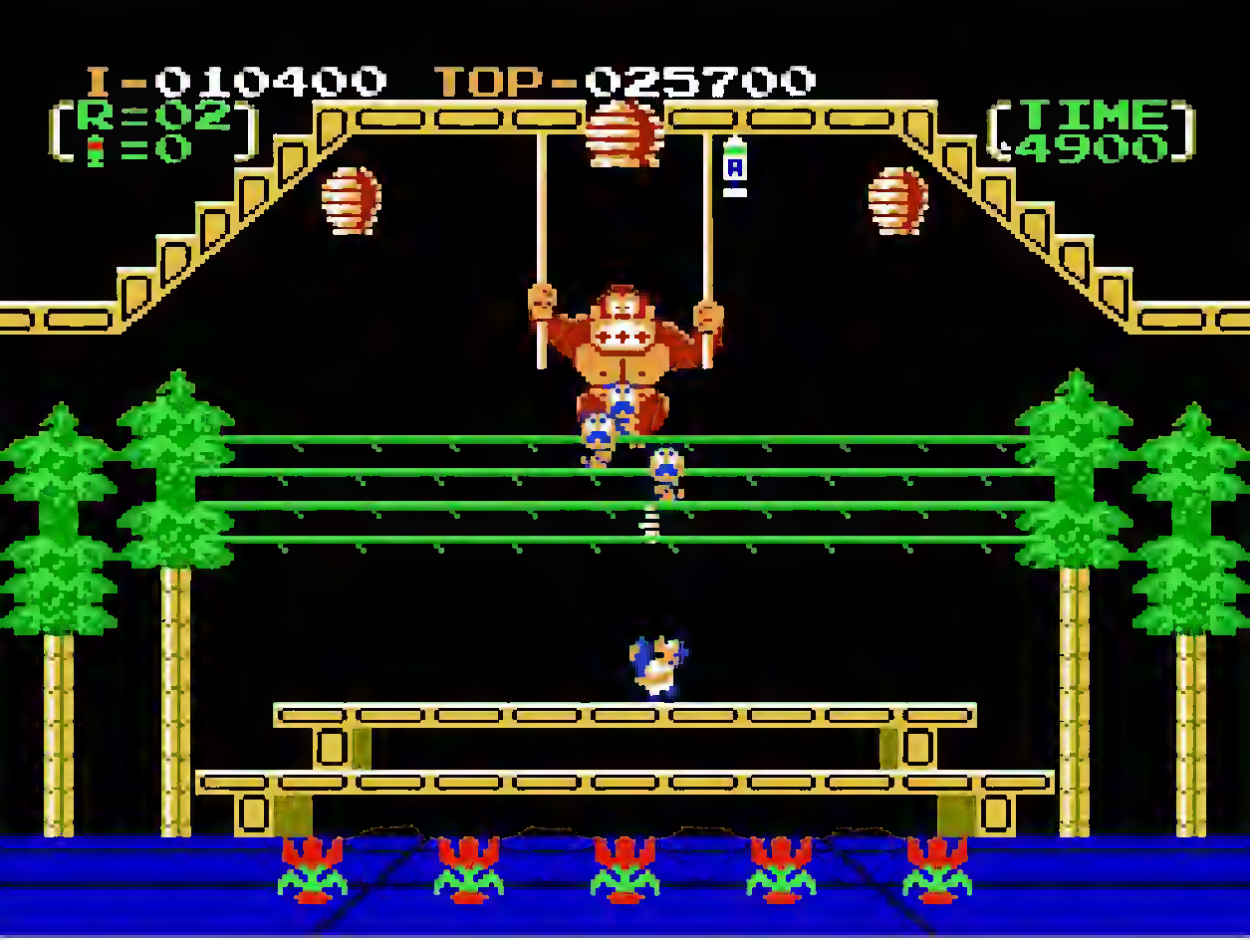
ジャンル
アクション

メーカー
任天堂

発売日
84.7.4

定価
4,500円

アクションシューティングという『ドンキーコング』シリーズとしては異端の作品。フラワーパークを襲う昆虫をスプレーで退治しつつ、降りてこようとするドンキーコングを追い返さなければならない……と様々な要素が導入されたマニアックな仕上がりとなっている。主人公であるスタンリーは、プレイアブルとしての出番が非常に少ない、任天堂屈指のマイナーキャラ。



『ドンキーコング』シリーズでは異端のシューティング。
コングが降りてくるとミスになるのだが、
無敵の毛虫が殺虫剤を防いでしまっている。

ついにドンキーコングが降りてきてしまい、
主人公のスタンリーもあえなくダウン。
勝ち誇るコングのどや顔が憎らしい。見事な悪役ぶりだ。

画面下部に並ぶ鉢植えを守るのが目的のひとつ。
飛来する虫は鉢植えを持ち去るが、
すべて取られてもミスにはならない。

ドンキーコングの股間に、スタンリーが噴射した
殺虫剤がヒット！ こうしてコングを押し戻しつつ、
虫も倒さなければならない。かなりの忙しさだ。

パックマン

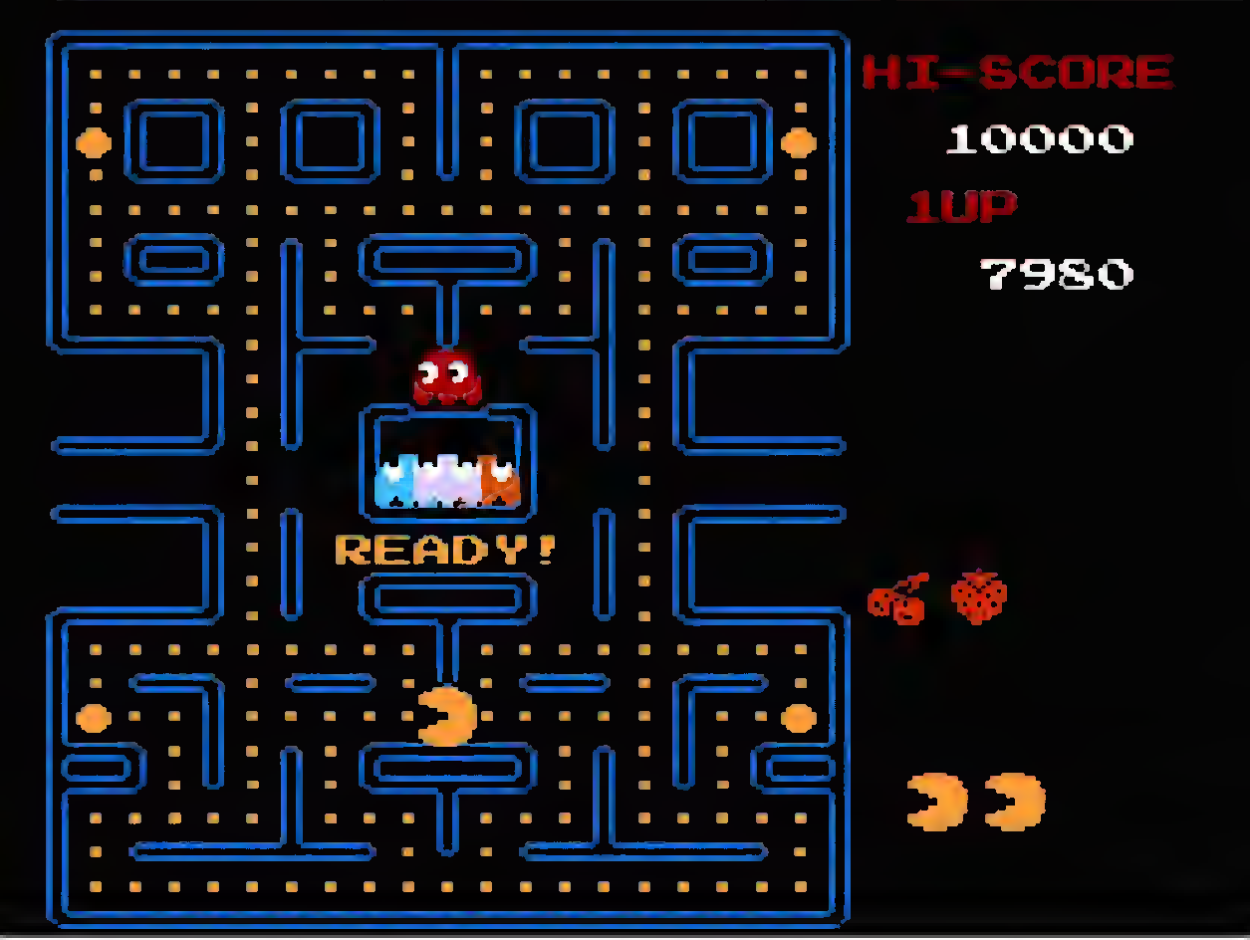
ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

発売日
84.11.2

定価
4,500円

八〇年代のミッキーマウスとまで言われた大ブームを全米に巻き起こしたドットイートゲーム。食べかけのピザのような主人公やそれぞれに個性あるモンスターはキャラが立ち、女子やカップル人気もハツグン。一発逆転のパワーエサや、息抜きのコーヒーブレイクなどアイディアが詰め込まれ、後のゲームに影響を与えた影響は計り知れない。『パックマン&パル』や『パックランド』など続編にも名作が多い。



全米にブームを巻き起こした80年代のミッキーマウス、
ファミコンに凱旋! ドットイートの奥深さは、
生誕30周年後も世界記録が時々更新されているほど。

パックマンが操作できず「観ているだけ」という
コーヒーブレイクの衝撃! 後のムービーを多用した
プレステ以降のゲームにとって原点とも言える。

パワーエサでモンスターに逆襲するほか、
1面にふたつ出るフルーツターゲットも大事な得点源。
チェリー→ストロベリーと変化、ステージ数の目安にも。

マッピー

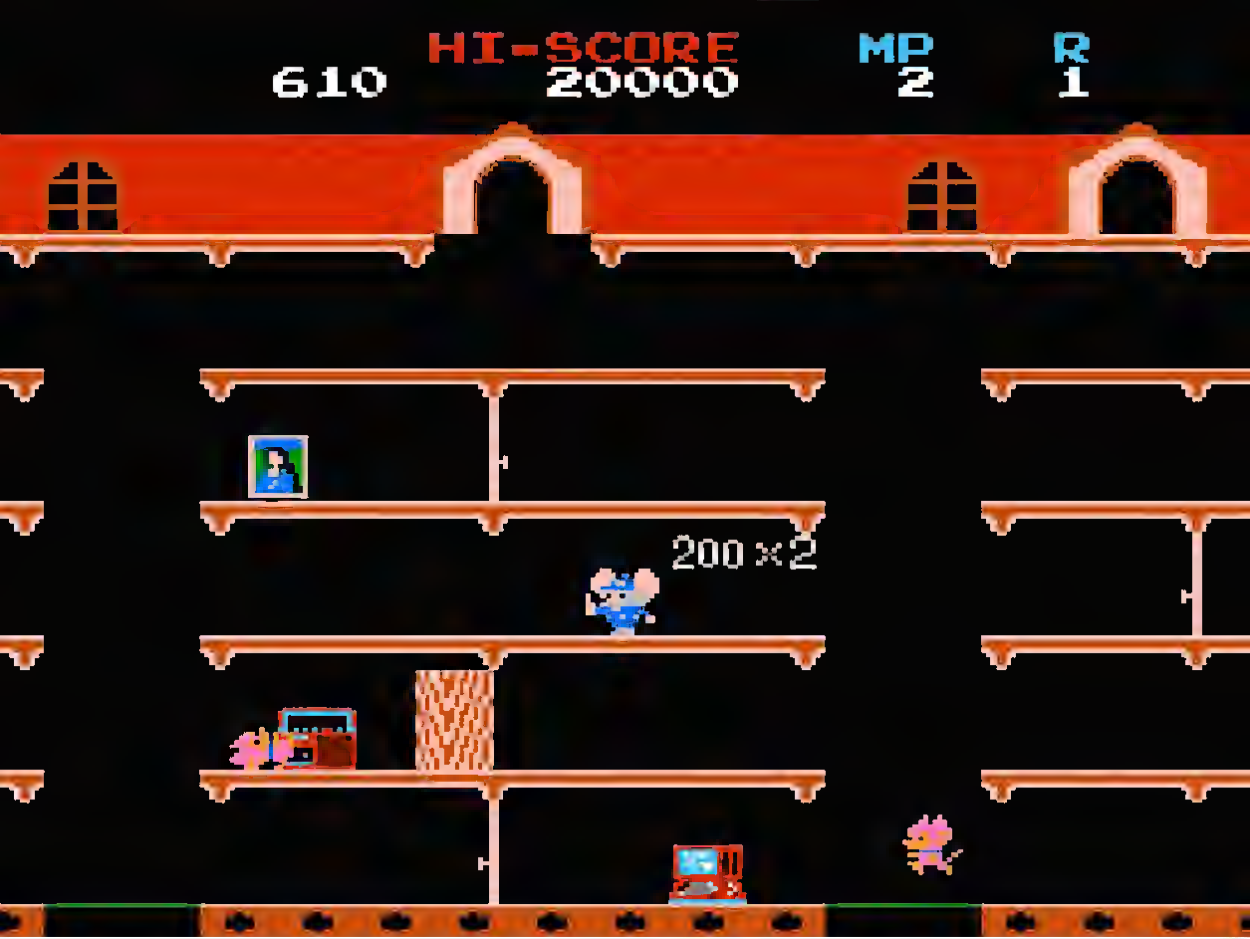
ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

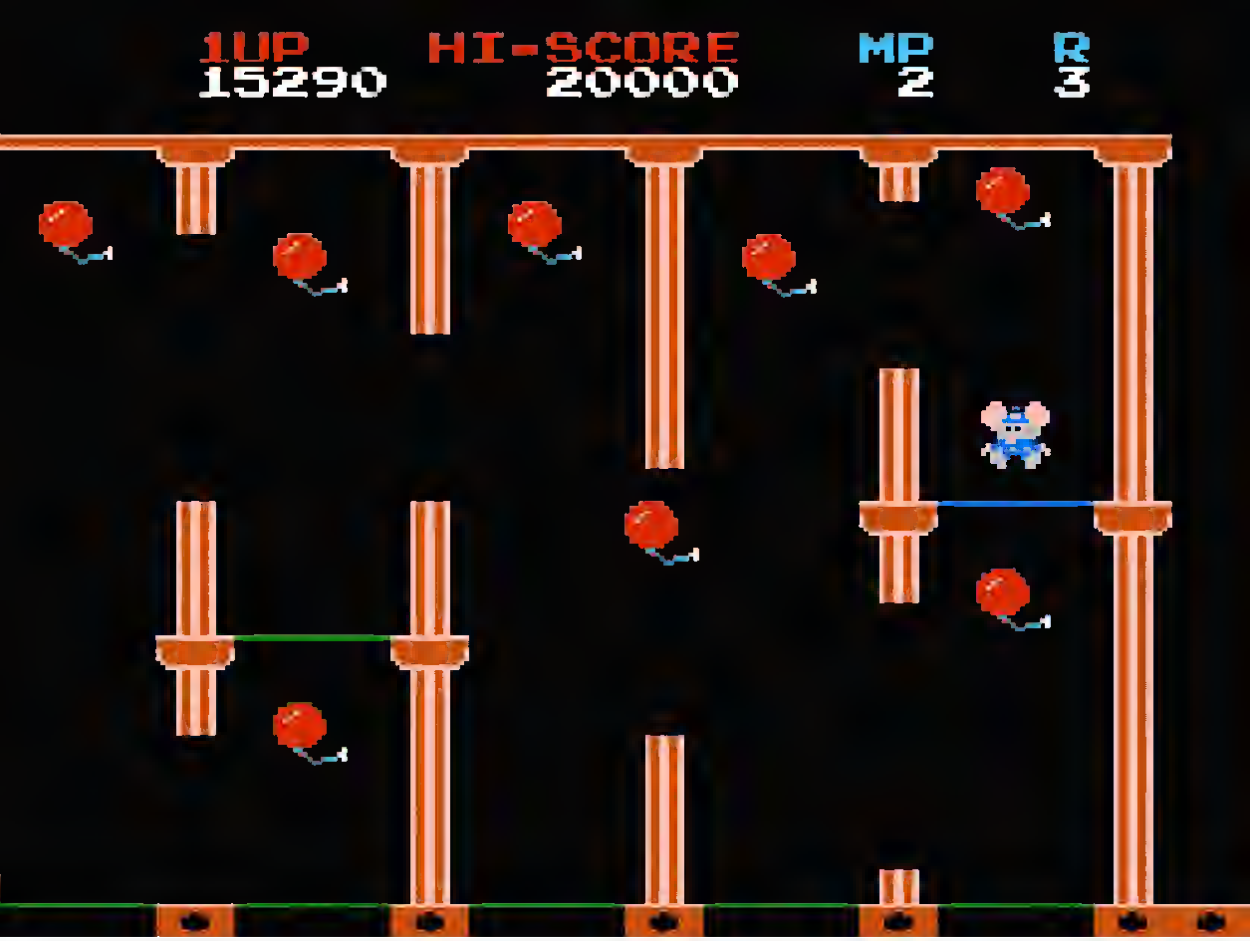
発売日
84.11.14

定価
4,500円

迷路探索ロボットが〝原作〟のアクションゲーム。ネズミ警官のマッピーがドロボー猫のニャームコ一味の屋敷に忍び込み、金庫など盗品を取り返す。トランポリンによる上下の移動やパワードアで敵を倒す操作が独特で、『ディグダグ』の〝掘る〟に対して〝開け閉め〟を軸としている。通常ステージのほかスタートやボーナスステージ専用曲もあってBGMが充実し、すぎやまこういち氏も感銘を受けたとか。



ネズミ警官のマッピーがドロボー猫の屋敷に潜入して
盗品を取り返す。同じアイテムを取り続けると、
スコアの倍率がアップ!



音楽が鳴り終わる前に風船をなるべく多く割って
スコアを稼ぐボーナスステージ。
専用曲も充実している。

クルクルランド

ジャンル
アクション

メーカー
任天堂

発売日
84.11.22

定価
4,500円

トゲトゲ生物のウニラがクルクルランドに隠した金塊を、主人公のグルッピーが探しだすアクションゲーム。グルッピーは自由に動くことはできず、ターンポストにつかんでクルクル回って方向転換する。金塊は最初は見えず、グルッピーが通過した後に出現するため、「どういう形で配置されているか」を予想して動く面白さがある。金塊のドット絵は『ゼルダの伝説』のルピーそっくり。

クルクルランドにウニラが隠した金塊を、
グルッピーが回転しながら探し出す。
癖のある操作は難しいが、慣れると病みつきになる。

レッキングクルー

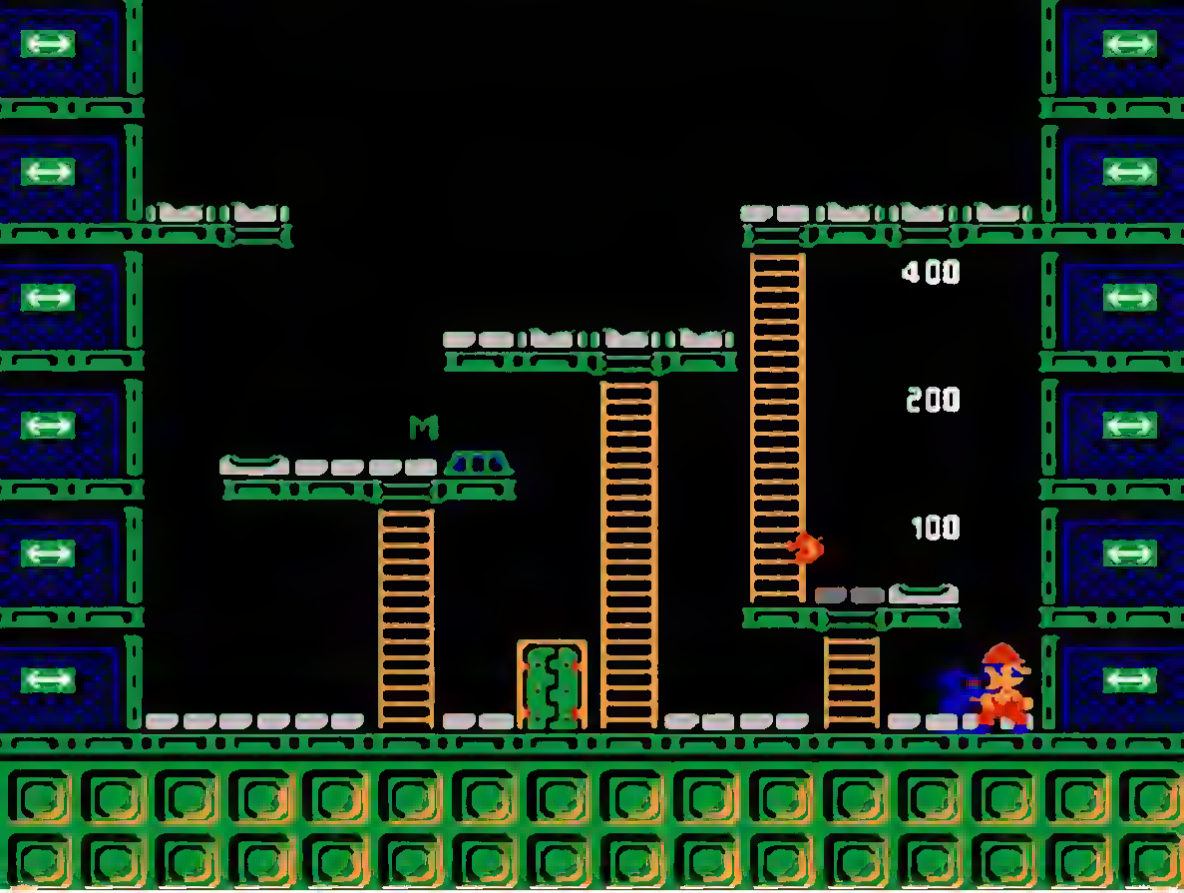
ジャンル
アクション

メーカー
任天堂

発売日
85.6.18

定価
5,500円

『スーパーマリオ』直前のマリオ兄弟は解体現場でアルバイトをしていた？ ハンマーを片手に現場の解体作業を請け負ったマリオは、相変わらず危険作業に無謀にもチャレンジ！ 解体順や移動経路を確実に把握しながらプレイしなければクリア不可能になるパズル的要素もアリ。アーケード版の『VSレッキングクルー』では、画面を隔てて対戦という要素が最も色濃くフィーチャーされた一作。



『スーパーマリオブラザーズ』への主演が決定する
直前のマリオのお仕事は工事現場の解体屋さん。
レフェリーやカメラマンとは違い主役なので張り切る。

スパルタンX

ジャンル
アクション

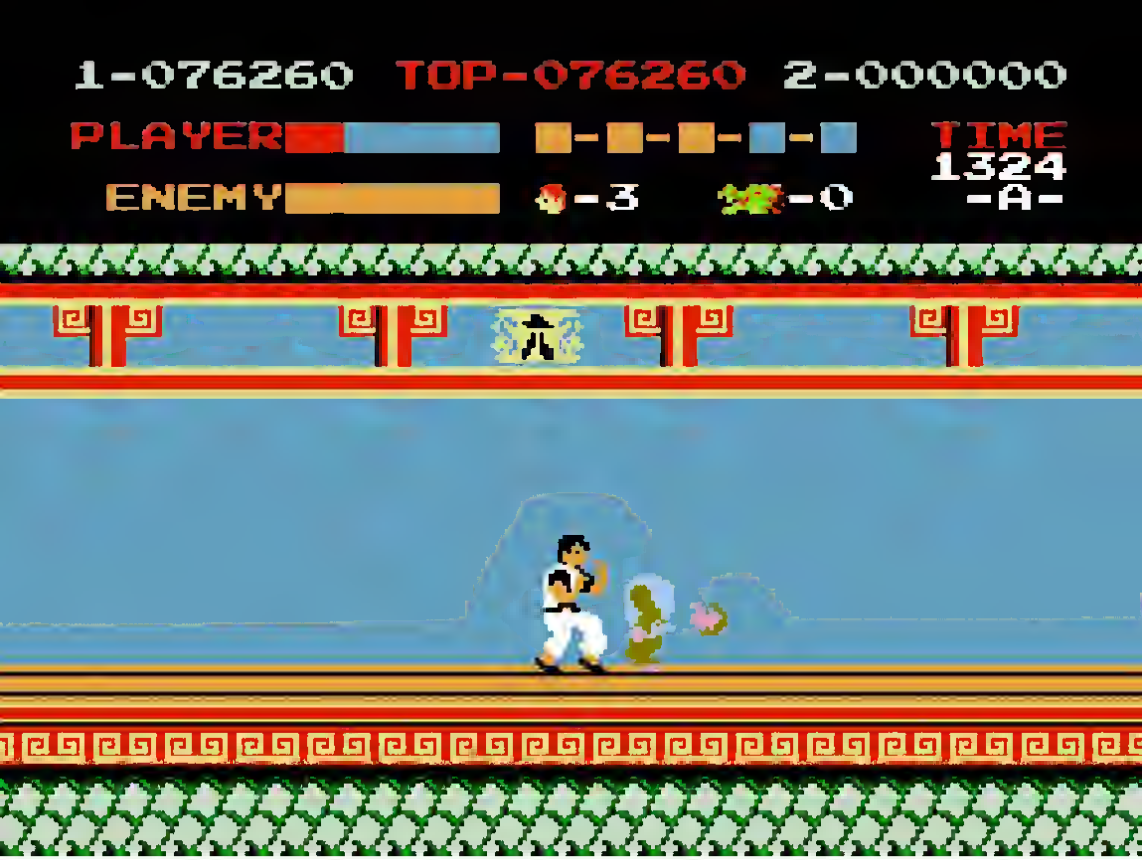
メーカー
任天堂

発売日
85.6.21

定価
4,900円

ジャッキー・チェン主演の同名映画を原作としたアーケードゲームの移植版。トーマスを操り、各階に待ち構えるボスと対決する。ファミコンでの再現度は高く、わかりやすくスリリングなルールと相まって大きなヒットに。ミニマルなフレーズが繰り返されるBGMと軽快な打撃音、トーマスが技を出す際の気合いやボスの笑いといった、当時珍しかった「声」など、音による演出も印象深い。

「つかみ男」に掴まれる、主人公のトーマス。
掴まれている間は体力がどんどん減っていくため、
かなり危険。できるだけ早くふりほどきたいところだ。



ボスの「妖術使い」は、頭部を攻撃すると
このように首が落ちてしまう。倒すにはボディへの
攻撃が有効だ。こうした移植度の高さも本作の魅力。

左側の黒衣の男が最終ボスのMr.X。トーマスの攻撃を
防御する強敵であり、ふたりの白熱の戦いは、
ファミコン少年・少女たちの心に深く刻み込まれた。

助けたシルビアと抱き合うトーマス。
このシルビアが襲ってくるフィクションの裏技が
マンガに登場し、広く信じられることとなった。

スターフォース

ジャンル
シューティング

メーカー
ハドソン

発売日
85.6.25

定価
4,900円

前年にアーケード用として発売された縦スクロールゲームがファミコンに登場！「ファイナルスター」で敵を倒していくシンプルで明快な内容は、シューティングマニアだけでなく、ゲームの初心者をも虜にした。高得点を取るためには連射が重要で、連射を重視するファミコン文化が成立するきっかけのひとつ。ゲーム大会「ハドソン全国キャラバン」初の公認ソフトとしても知られる。

画面左下に並ぶ「?」印のプレート、その裏面は
アタリの「ケラ」かハズレの「プン」になっている。
ここでは残念ながら「プン」が出てしまった。

中ボス「ラリオス」は上下左右から飛来するパーツと
合体する前に破壊できれば高得点が手に入る。
プレイヤーの連射力を試される瞬間だ。

矢印のプレート「ジムダ」が二列に並んだ
「ジムダ・ステギ」。片側を連続で十個破壊できれば
ボーナスだが、耐久力が高いため並大抵の苦労ではない。

右下の顔面が「クレオパトラ」。普段は隠されており、
見つけ出して破壊すれば百万点ボーナス。
本作の後、隠しキャラブームはさらなる過熱を見せた。

救出したパーサーとドッキング状態のファイナルスター。
ドッキング中は連射速度が上昇、
連射が重要な本作では重要な仲間だ。

ドアドア

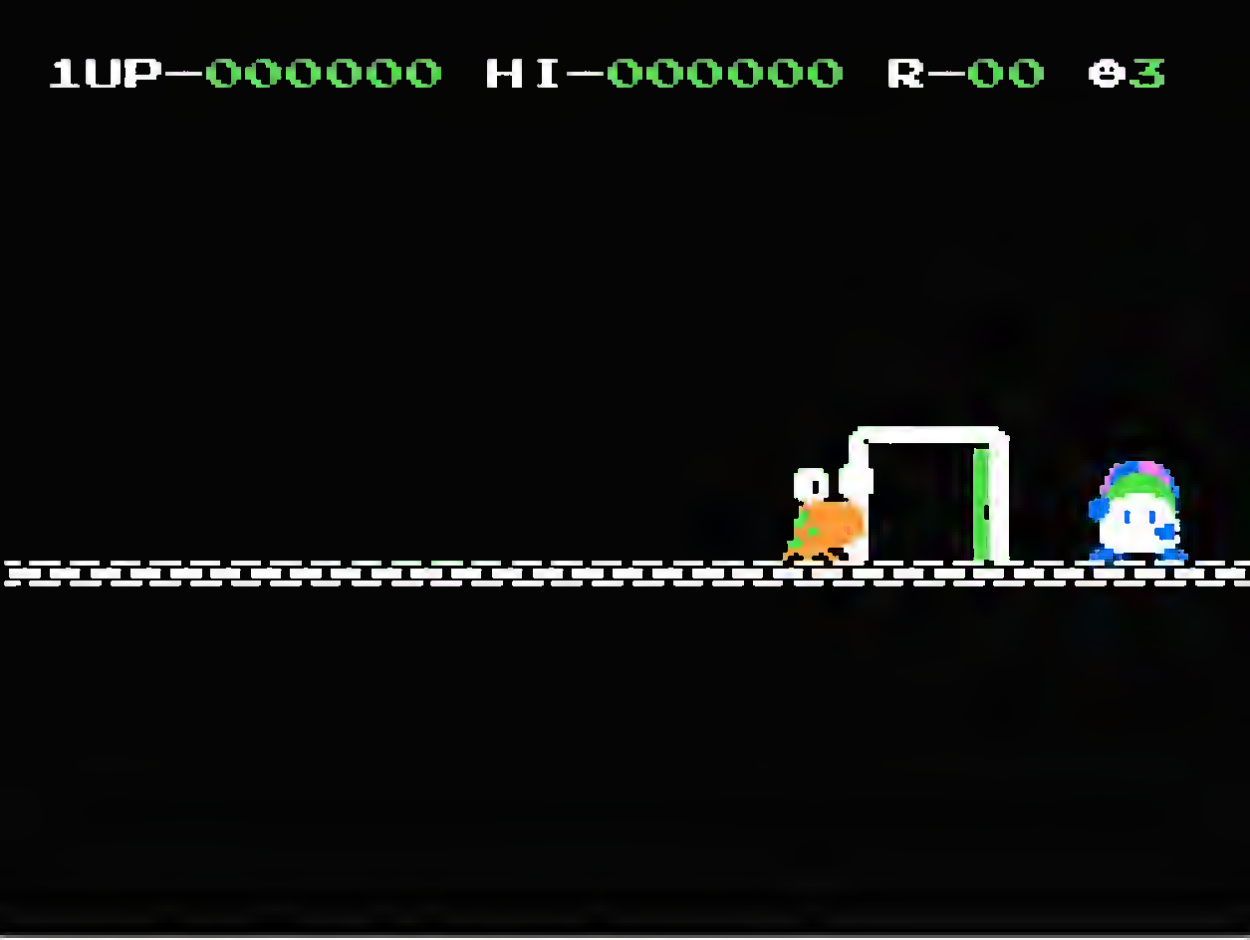
ジャンル
アクション

メーカー
エニックス

発売日
85.7.18

定価
4,900円

エニックスのファミコン参入第一弾ソフト。主人公のチュン君がドアを開けて敵を中に入れ、ドアを閉めて全滅させるアクションゲーム。オリジナルのパソコンゲーム版は当時としては大ヒットし、ファミコン版は続編の『ドアドアmk2』の要素も追加された集大成だ。その二年後に発売された『ドラゴンクエスト』の開発に関わった中村光一氏の出世作でもある。



ドアを開けてエイリアンを招き入れ、
ドアを閉じて異界に送るチュン君。
シンプルな操作にして敵との駆け引きがアツい。

ナメゴンやインベ君、オタピョンといった
性格の異なる敵を誘導してまとめて閉じ込めるのがコツ。
ステージごとに一方通行などギミックも多い。

フロントライン

ジャンル
アクション

メーカー
タイトー

発売日
85.8.1

定価
4,500円

ファミコンが発売された一九八三年、ゲームセンターを戦いのるつぼに変えた『フロントライン』がついにファミコンに登場！　アーケードでは熱い駆け引きが話題を呼んだ移動・射撃の二軸の特殊操作系・ダイヤルスイッチが、ファミコン以降の家庭用ゲーム機での戦場アクションに与えた影響と、一見すると日常生活にはなんの役にも立たなそうな数学が、実は役に立っていたことを思い知らせる。

たったひとりでフロントライン(最前線)送り!
いったい何をやらかしたら、こんなむごい状況に
追い込まれるのか?　手榴弾で景気付け!

単身乗り込んだ戦場での男の夢、戦車(大)!
これで敵兵から逃げ回る単独活動ともおさらば。
でも敵戦車の直撃弾には要注意!

バトルシティー

ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

発売日
85.9.9

定価
4,500円

『タンクバタリアン』がファミコン用として大幅アレンジされたのが『バトルシティー』。戦車の特性を再現したシステムで、反射神経の鋭さよりは立ち回りや戦略を重視した、間口の広いゲームが実現した。本作は後にゲームボーイに移植、さらに再アレンジされたアーケードゲーム『タンクフォース』となり、『スターフォックス アサルト』にも収録されるなど長く親しまれている。

画面中央下にある鷲のマークで表される司令部
を守ることが目的。協力プレイが可能だが、
お互いの弾がヒットすると動きが止まってしまう。

ステージの中にはナムコのキャラクターを
模した形をしたものも。同社が早い段階から
キャラクターを大事にしていたことがうかがえる。

数に勝る敵戦車隊と戦わなければならないため、
障害物を使って交通の要所で待ち伏せる戦法が有効。
リアルな戦車戦のテイストだ。

自由にステージをエディットすることも可能。
さっそくレンガで「超」の字を作って戦ってみたが、
ステージとして冗長であることは否めない。

シティコネクション

ジャンル
アクション

メーカー
ジャレコ

発売日
85.9.27

定価
4,900円

ホンダのシティによく似た車に乗った美少女のクラリスが、理想の男性を探し求めて爆走するアクションゲーム。画面上の道路をすべて塗り潰すドットイートゲームの一種だが、交通違反を取り締まりにきたパトカーをオイルで事故らせる背徳感と、ネコにぶつかると罪悪感でミスになる心優しさのギャップがたまらない。原作は世界各国の美しい背景が売りだったが、ファミコン版はざっくりカット。

いい男を見つけるため、世界各国で暴走行為を繰り広げ、
パトカーにオイルをぶつけてクラッシュさせるヒロイン。
クラリスというより峰不二子かも。

走行距離が256kmに達するたびに出現する風船を
3つ取ると、先のステージにワープできる。
プレイできるステージが減って損してるのでは?

ルート16ターボ

ジャンル
レース

メーカー
サン電子

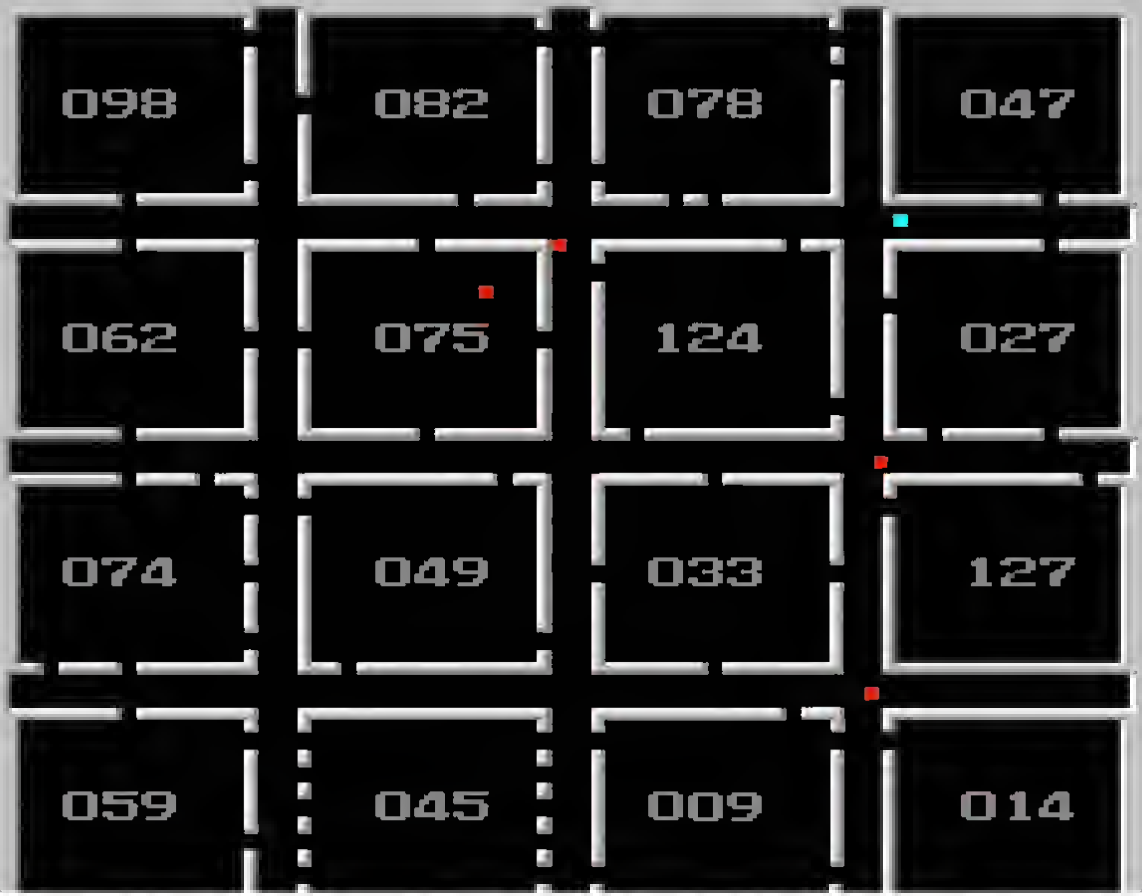
発売日
85.10.4

定価
4,500円

大小縮尺の違うマップを組み合わせ、一六×一六画面の広大なフィールドを表現した野心的な作品。スーパーカー「マッド・エックス」に乗り込み、悪の組織「カンハルー」が盗んだ金を取り返すのが目的。Aボタンを押すとターボがかかり加速できるが、燃料が急速に減っていく。面クリア時に一文字ずつ表示されるキーワードを揃えると、ワープなどが当たるリッチなキャンペーンも行われていた。

小部屋の中に入ると、このように拡大された画面となる。
中央の星マークを取るとボーナスだが、
行き止まりになっているので敵車が来ると危険。

画面右側にいるのはモンスター。
自機が装備するレーダーに映ることがないため、
小部屋の中に入る前に存在を知ることができない。



小部屋から出ると画面がレーダーモードに変化。
自機や敵車の位置が光点で表現されており、
敵車のいない小部屋を探すのに役立つ。

小部屋の形は様々で数字のようになっているものも。
「5963」(ご苦労さん)とは人を食っているが、
こうしたユーモアも本作の魅力。

マッハライダー

ジャンル
レース

メーカー
任天堂

発売日
85.11.21

定価
5,500円

マシンガンを積むためにブレーキを犠牲にしたモンスターバイクで、生き残った人類を探すために疾走するマッハライダー。とりあえず、走ってる最中に襲ってくる荒くれ者の敵バギーの操縦者は人類のうちに入っていないので、人類を探すためなら荒くれバギーの一〇台や二〇台はマシンガンと幅寄せの餌食に！　そのスピード感と戦闘的な走りは、後の任天堂レースゲームへと受け継がれている。

ヒャッハー! マッハライダーが爆発四散!
お見事な散華っぷりに、マッハライダーが女性という
アーケード版の設定をしばし忘れる

マシンガンを足し算して、ブレーキを引き算。
これぞ世紀末の方程式! この方程式が、
後の任天堂のレースゲームシリーズに与えた影響は大。

スターラスター

ジャンル
シューティング

メーカー
ナムコ

発売日
85.12.6

定価
4,900円

誰もが熱狂したナムコットシリーズ初の完全オリジナル作品がついに登場！ シューティングの腕だけでは勝ち抜けない局面を、知性で乗り越える戦略も問われるリアルタイムシミュレーションでもある。その源流は七〇年代初頭というコンピュータゲーム黎明期にまで遡れる、由緒正しいジャンルだった。その設定も、数あるナムコの宇宙戦争作品を束ねるUGSFシリーズの礎となっている。

ファミコン初のオリジナル作品にして、
超高速で展開する迫力のスペースバトル!
さすがナムコ最初のオリジナルにふさわしい。

アドベンチャーモードでの戦いは、よりハードに。
大局を見て戦略を立てなければ、
暗黒惑星に打ち勝つことはできない!

文章の説明ではわかりにくいけれども、
見たら一目瞭然な宇宙の危機。
「E」と「＊」が清々しいほどに隣接しまくっている。

高機動戦闘メカ ヴォルガードII

ジャンル
シューティング

メーカー
デービーソフト

発売日
85.12.7

定価
4,900円

古代の高機動メカ「ヴォルガードII」を操り、巨大コンピューター「ズイガム・ボルド」に挑む、横スクロールシューティング。レーダーを破壊して味方輸送機を呼び、武器のエネルギーに気を使う、リアルな戦いが特徴。二号機と一緒にいるときはロボットに変形できるが、戦闘機状態が優秀なため、いまいち影が薄い。ちなみに、パワーアップ状態のそれぞれで鳴るBGMには歌詞がついている。

二号機を受領しようとする、プレイヤーの一号機。
二号機は量産型らしい機体に守られており、
こうした細かい描写が作品にリアリティを生んでいる。

人々を支配する超巨大コンピュータ、
ズイガム・ボルドに挑む、ヴォルガード。
すさまじい対空砲火のため、戦いは体力勝負になりがち。

輸送機で運ばれてくる、漆黒のライバルロボット。
ロボット形態になったヴォルガードのパンチしか
効かないという、実に厄介な性質を持っている。

戦闘機形態ではフライパスできない障害物も、
ロボットに変形すれば回避可能。戦闘機形態が強い
本作において、ロボット形態の数少ない使い道だ。

ピラミッドをバックに、敵大型機が飛来する。
画面左上の自機は二号機を連れているため、
ロボットに変形することが可能。

オバケのQ太郎 ワンワンパニック

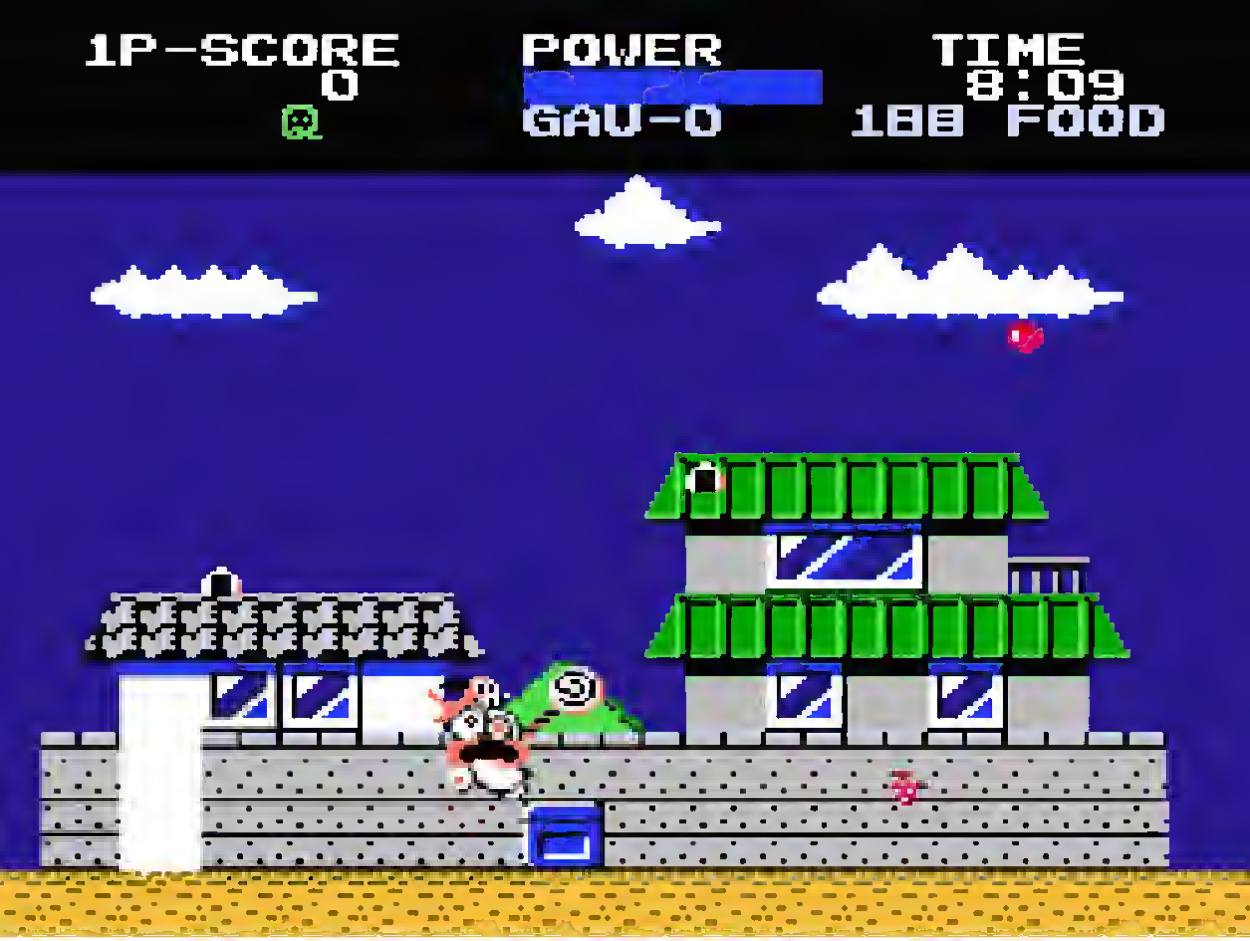
ジャンル
アクション

メーカー
バンダイ

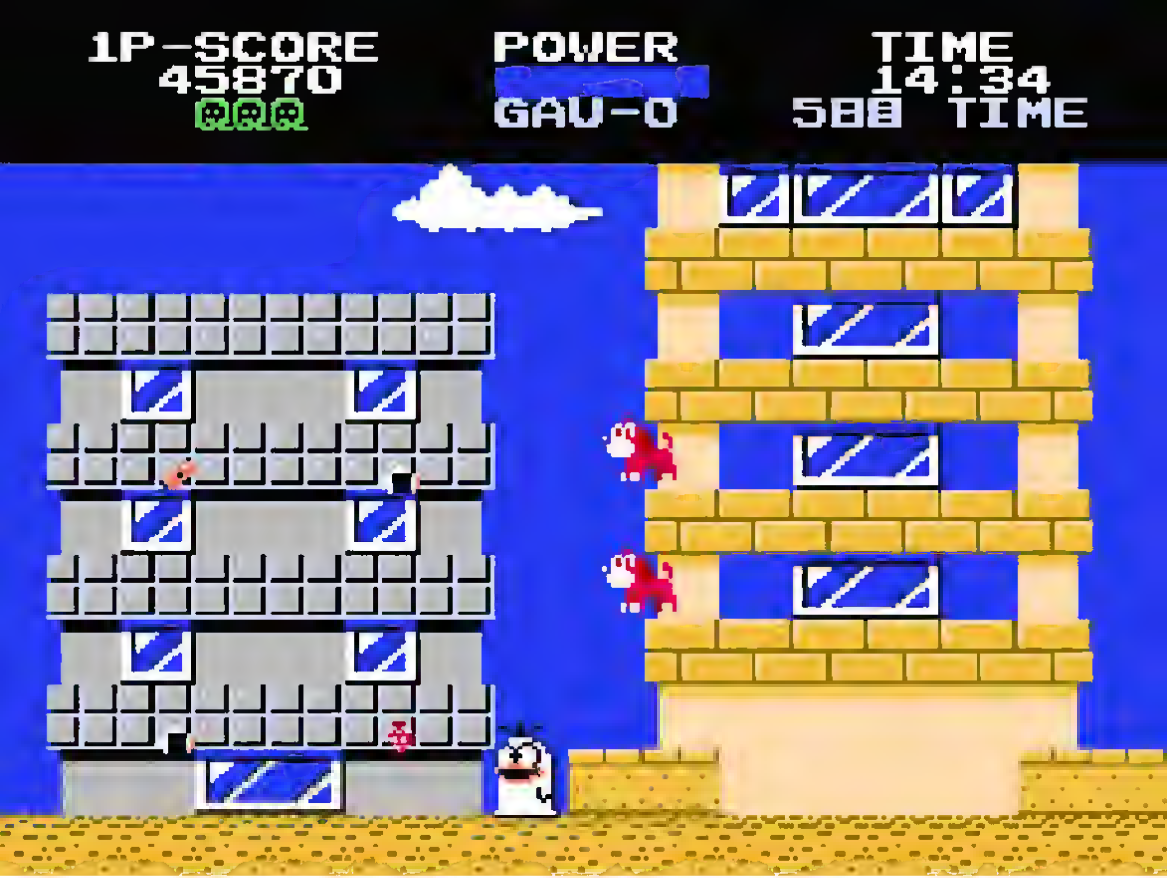
発売日
85.12.16

定価
4,900円

くいしん坊のオバケが居候、正ちゃんや仲間たちと大騒ぎを繰り広げる——という藤子・F・不二雄の国民的人気作品がファミコンに登場！　オバケのQ太郎が、友達への届け物や誘拐犯との対決に行く途中で犬に吠えられて即死したり腹を減らしてジワジワ餓死するアクションゲーム。スズメやカラス、煙突の煙やフーセンも致死性なので逃げ場なし！　全二二ステージの地獄は無限ループするぞ。



青空の下、のんびりとした街歩きを楽しむ
……どころではなく、絶え間なく食い物アイテムを
取ってないと餓死の危機にさらされているQちゃん。



ストリートは暴力が支配する無法地帯。
住人たちを駆逐した(推測)犬がワンワン砲を撃ち、
ありえないジャンプ力で襲いかかる恐怖!

ボンバーマン

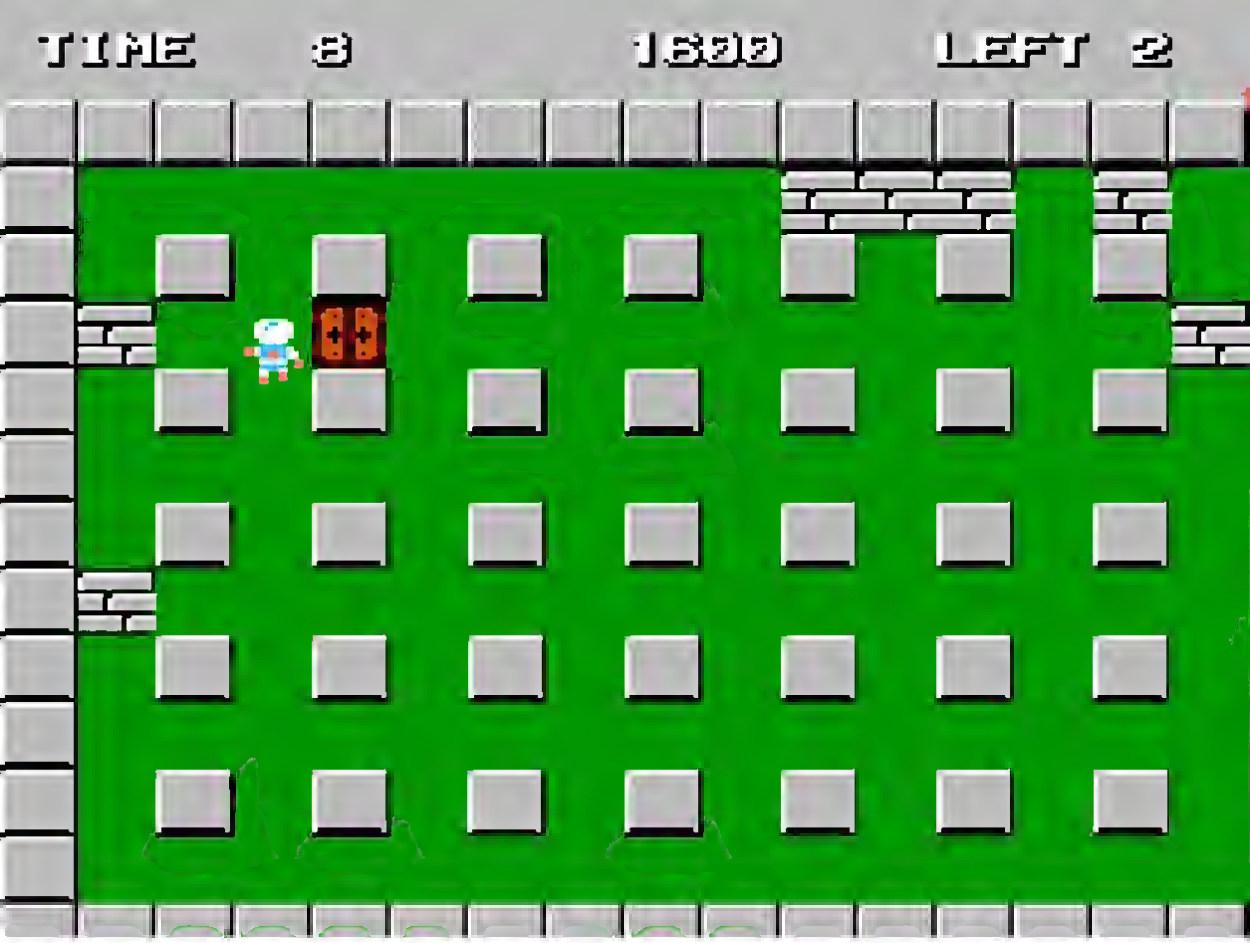
ジャンル
アクション

メーカー
ハドソン

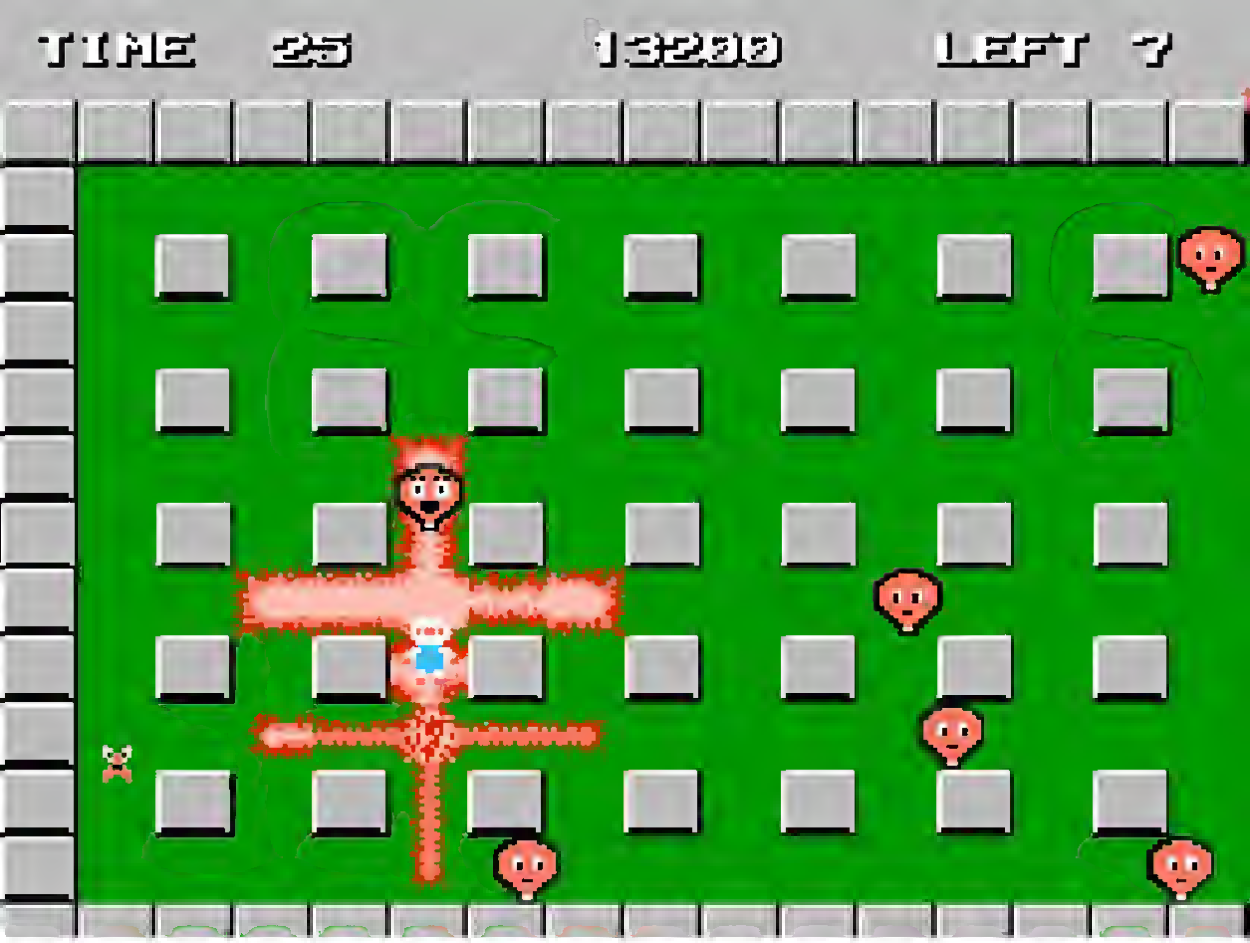
発売日
85.12.19

定価
4,900円

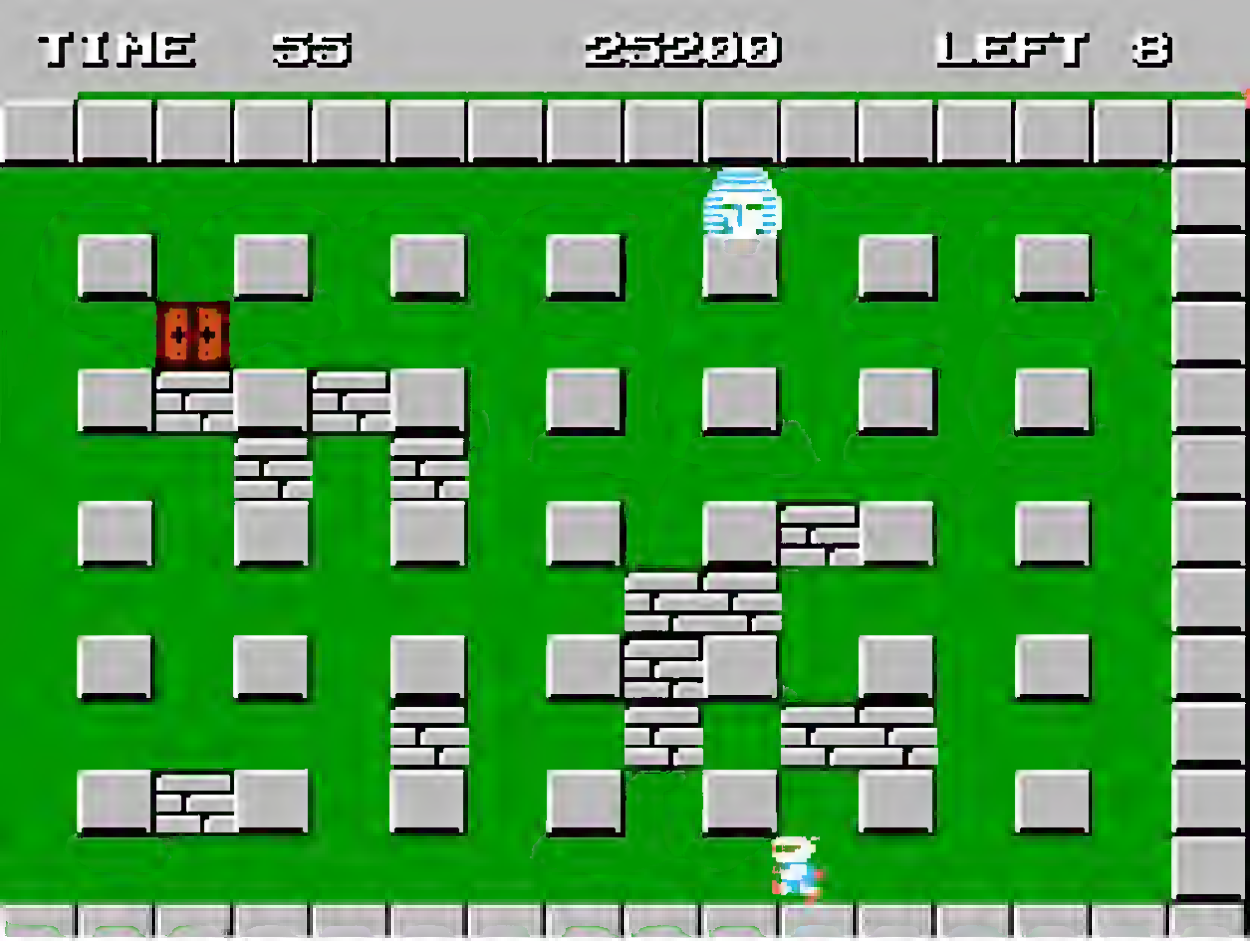
パソコン用ソフト『爆弾男』から移植された結果、爆弾で敵を吹っ飛ばすアナーキーさと爆破範囲や誘爆を計算に入れた緻密なパズル性があいまって大ブレイク。一作目は続編のように対戦モードはないが、無敵に近いパワーアップや一気に二〇〇〇万点のボーナスなど壊れたゲームバランスは唯一無二！　発売当時はボンバーマンの正体＝『ロードランナー』の主人公という設定だったが、後になかったことにされた。



すべての敵を倒してから扉に入るとステージクリア。
扉もレンガの中に隠されているので、
見つからなくて苦労することも。



最大の敵は自分が置いた爆弾の爆風。
アイテムの火炎バリアを取るとほぼ無敵になるが、
ミスしてなくすと涙目に。



敵を全滅させた後にステージの外側を一周すると
出現する隠れキャラ「ゴーデス」。
『スターフォース』では100万点だが、こちらは2万点。

ぺんぎんくんWARS

ジャンル
アクション

メーカー
アスキー

発売日
85.12.25

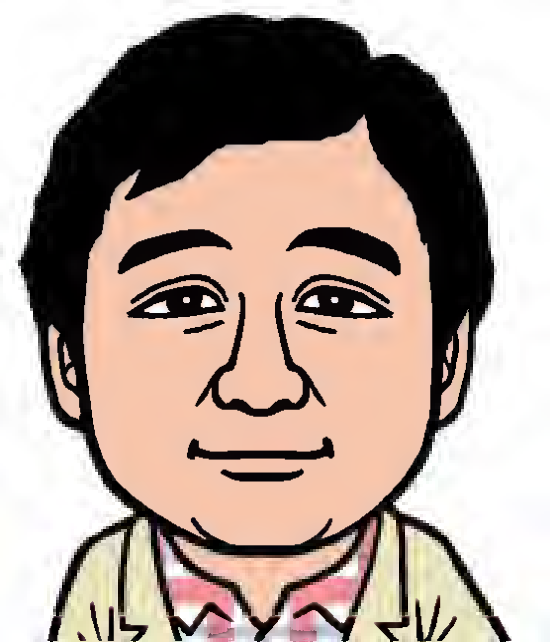
定価
5,500円

アーケードゲームの雄、UPLのゲームがアスキーから参戦！ぺんぎんくんと愉快な仲間たちが繰り広げるなさけむようの球技・ドジボールで勝ち上がる。見た目とは反して高めの難易度と、勝ち上がるにつれ徐々に陰険にこちらを追いつめるようになる敵AIの戦略に打ち勝つ。BGMには当時歌謡曲で大ヒットした石川秀美の『もっと接近しましょ』を起用したところも、いろいろな意味で思い出深い。

対戦相手にボールをブチかまし、
手持ちのボールを倒れた相手の陣地に集中砲火!
可能ならば連続してぶつけまくれ!

ゲームクリエイター大森田不可止が語るナムコとファミコンの黄金時代

文=多根清史



グーニーズ

ジャンル
アクション

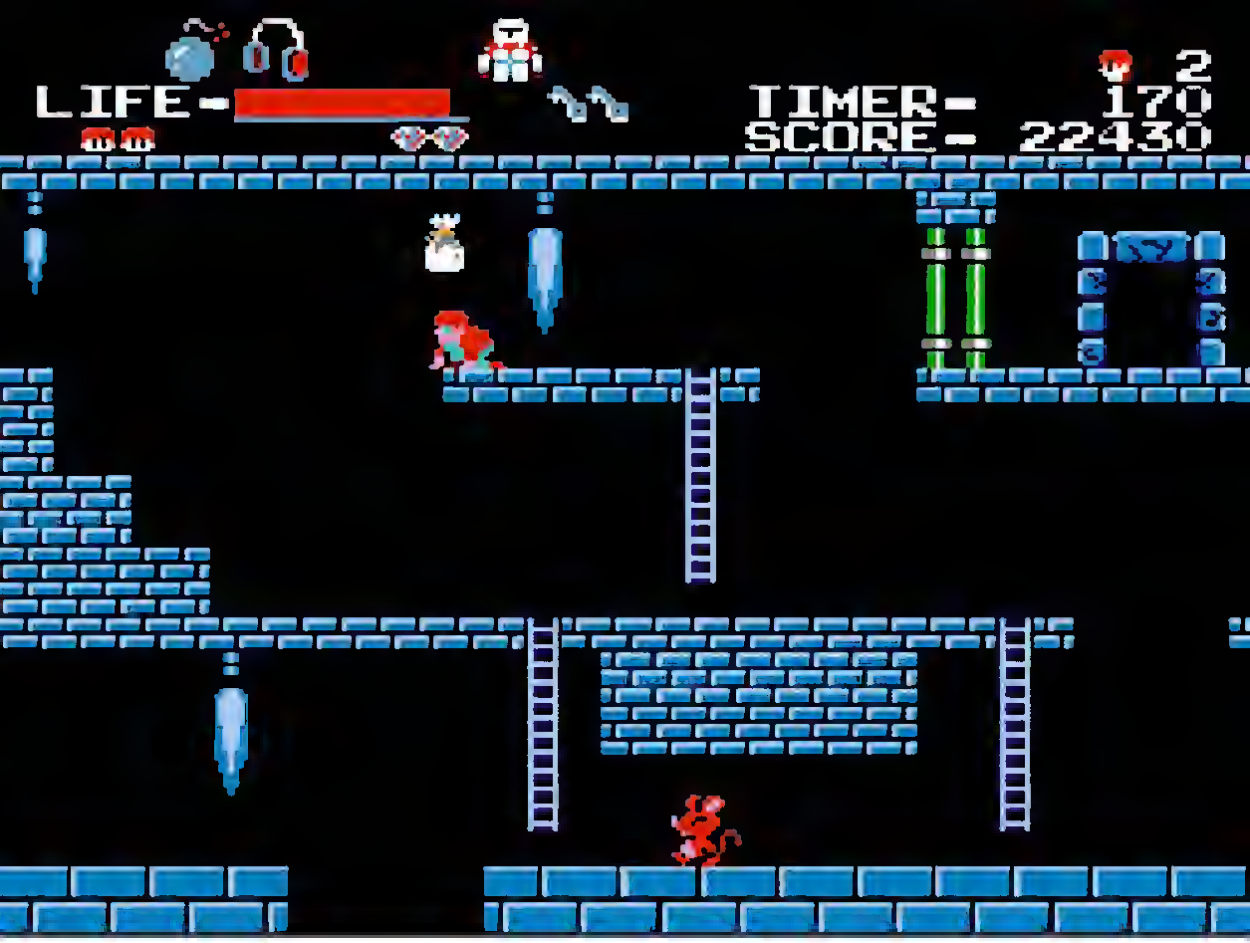
メーカー
コナミ

発売日
86.2.21

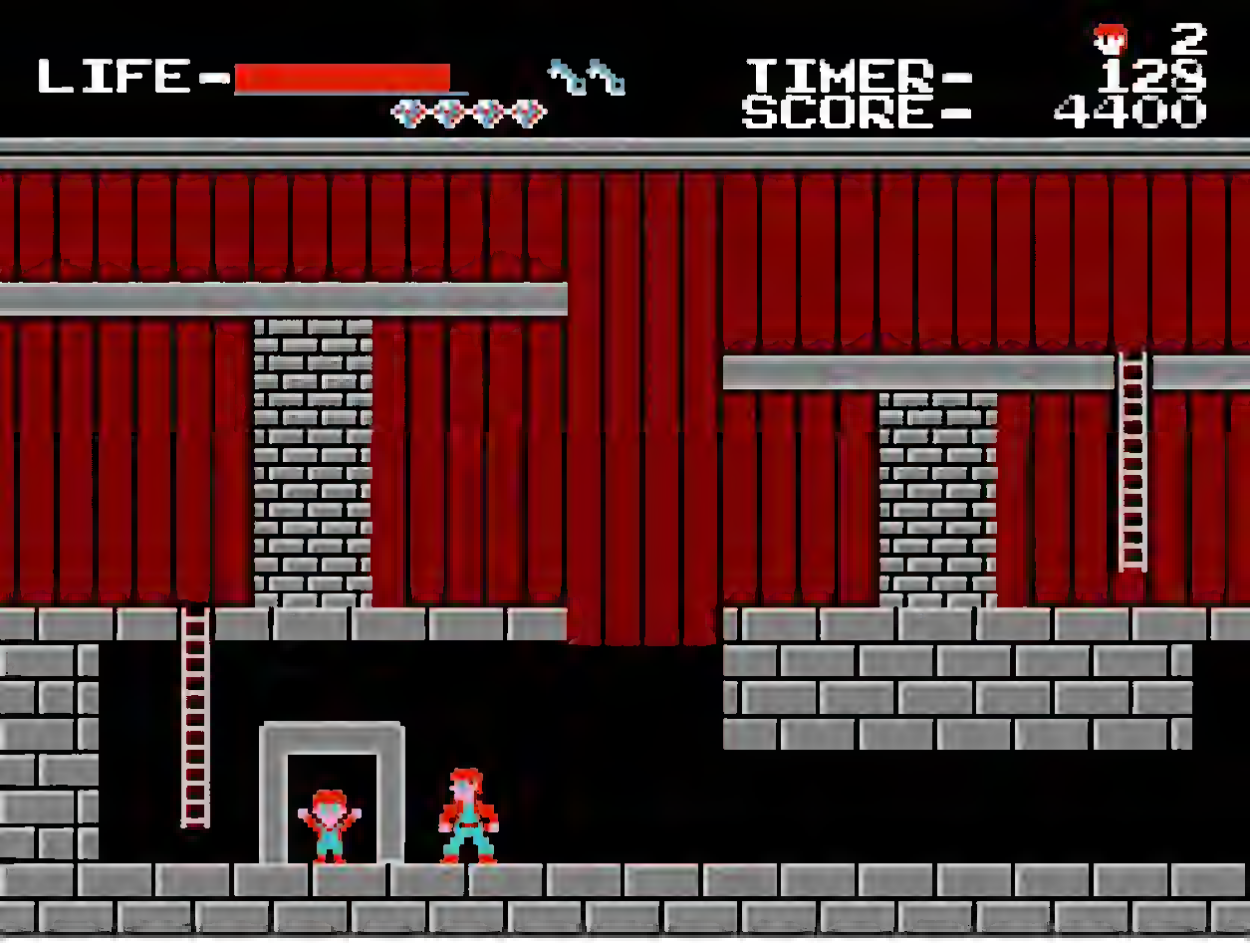
定価
4,900円

シンディ・ローパーの歌う主題歌「グーニーズはグッドイナフ」も懐かしい。一九八五年に公開された映画を原作とした、横スクロールアクションゲーム。キックと爆弾を武器にグーニーズの仲間たちを助け出していく。難易度は低め。なおかつ流行だった隠しキャラが比較的簡単に出せ、隠しキャラを手に入れることで主人公が劇的に強くなっていくという親切設計が嬉しい。

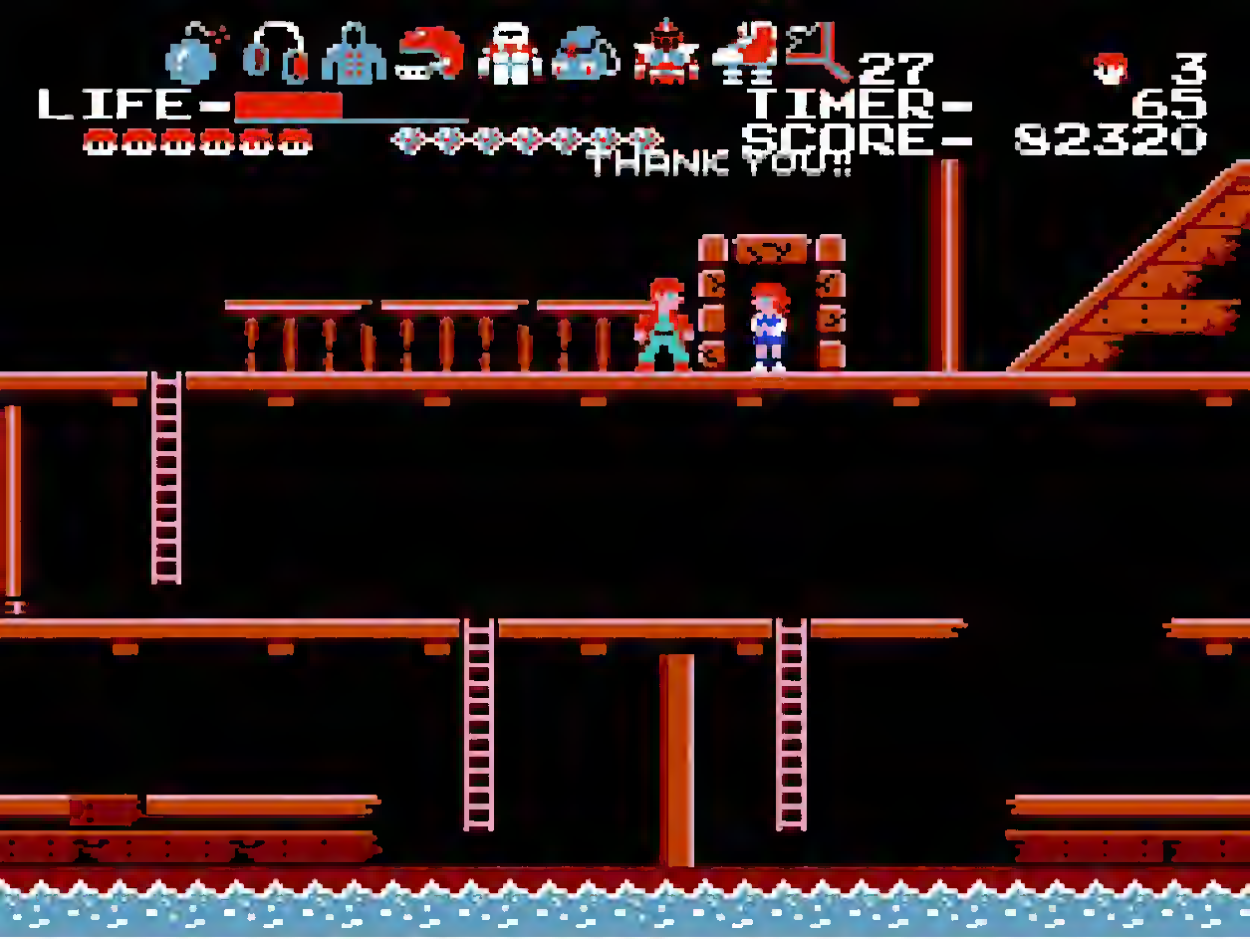
同名映画のゲーム化。画面上部に並ぶのは、
隠しアイテムの装備品。特定の攻撃を無効化するなど、
入手すると進行が楽になる。



主人公の頭上に浮かぶ袋の中に、隠しアイテムが。
特定の場所で決められた行動をすることで出現するため、
隠しアイテム探しが楽しい。



左下で万歳しているのが岩牢に閉じ込められた子ども。
助けなくても先に進めるが、最終ステージに
たどり着くことはできないため、しっかり見つけたい。



全員を助けることで突入できる最終面で、
最後に残された仲間である女の子を救い出した主人公。
エンディングを迎える条件は整った!

タッグチームプロレスリング

ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

発売日
86.4.2

定価
4,900円

最初期のプロレスゲーム『ザ・ビッグプロレスリング』をベースとしたオリジナル作品。技を掛けるまでの攻防が、旧作よりわかりやすくなっている。長州力&スーパー・ストロング・マシン風のレスラーがミル・マスカラス&アニマル・ウォーリアー風のタッグチームと熱き戦いを繰り広げる。特定の組み合わせだと必殺技が使えるようになるなど、プロレスマニア的なこだわりが光る。

長州に似たリッキーが、アニマルに似たウォーリーに
必殺のサソリ固め！ 必殺技は特定レスラーの
組み合わせでしか使えないのが、まさにプロレスの因縁。

ウォーリーのウエスタンラリアートがリッキーの
のど元に炸裂! リッキーを相手にしたときにしか
使えない必殺技で、出ると試合が大いに盛り上がる。

リッキーが場外で鉄柱攻撃。場内と場外で使える技が
異なってくる点もプロレスファンにアピールした。
画面左下にTVカメラがあるあたりも芸が細かい。

リッキーのバックブリーカーから仲間を助けるべく、
マスクロスがリングへ乱入！ ふたりの肉体が
複雑に絡み合うプロレス技を表現するドット芸も秀逸。

バード・ウィーク

ジャンル
ファンタジー・
ファミリー・
ゲーム

メーカー
東芝EMI

発売日
86.6.3

定価
4,900円

親鳥を操作して餌を捕まえ、巣で待つひな鳥をお世話する。プレイヤーは親鳥であるマミーを操作、最大三匹のひな鳥たちにせっせと餌を与えて、規定数が巣立てばクリアとなる。基本設定は女児向けのようだが、ゲーマーすら手こずるくらいに難易度が高い。「ファンタジー・ファミリー・ゲーム」というジャンル名のもと、家族に向けたアピールが行われた異色のファミコンゲーム。

豊かな大自然の中、親鳥マミーはヒナたちに
餌のチョウチョを運んでいく。画面左下にあるキノコは
攻撃アイテムで、ぶつけると敵を気絶させられる。

長時間餌を与えられなかったため、
ヒナが飢え死にしてしまった。昇天するヒナの姿は
実に哀れで、ほのぼのした絵柄がシビアさを際立たせる。

ヒナに餌を与えるマミー。こうして、すべてのヒナが
巣立つまで育てることができればステージクリア。
子どもを育てる母の苦労が疑似体験できるのだ。

魔界村

ジャンル
アクション

メーカー
カプコン

発売日
86.6.13

定価
5,500円

ゲームセンターにおいてアクションゲームの王道を築き上げた超名作がファミコンに移植され、「カプコンが自社ビルを建てられた」と言われるほどの大ヒット！　原作のクセになるマゾ性が『エクゼドエクゼス』でもおなじみのマイクロニクス社によるダメ移植のおかげで強まり、雑魚だったレッドアリーマーはカリスマに、ゲームは子供心に傷跡を刻む伝説の一作となった。

1面のボスと対決する主人公のアーサー。
道中のザコやトラップがいやらしすぎるので、
ボスと会うとホッとします。

パンイチでレッドアリーマーにばったり。
操作性のひどい移植で「強敵」のキャラが立ち、
その後ゲームの主役に抜擢された勝ち組だ。

機動戦士Zガンダム ホットスクランブル

ジャンル
アクション／シューティング

メーカー
バンダイ

発売日
86.8.28

定価
5,500円

アニメブームを巻き起こした『機動戦士ガンダム』の七年ぶりの続編を、『ゼビウス』のゲームクリエイター・遠藤雅伸氏がゲーム化。約四〇万本のヒットを飛ばして商業的には成功を収めたが、爽快感に欠ける3D戦闘や平凡で大味な2Dステージはコアなゲーマーには不評で、一時は「遠藤雅伸氏の黒歴史」と言われたことも。修正される前の本来のバージョンは、一〇〇〇本限定のプレゼントとして世に出た。

地上ステージで戦うZガンダム。
本体は画面に見えないが「ウェーブライダー形態で
空を飛んでる」と想像してください。

要塞の内部に侵入して最奥部に辿り着いたZガンダム。
「ここが弱点です」というコアの佇まいが
なんとも言えない。

けいさんゲーム 算数5・6年

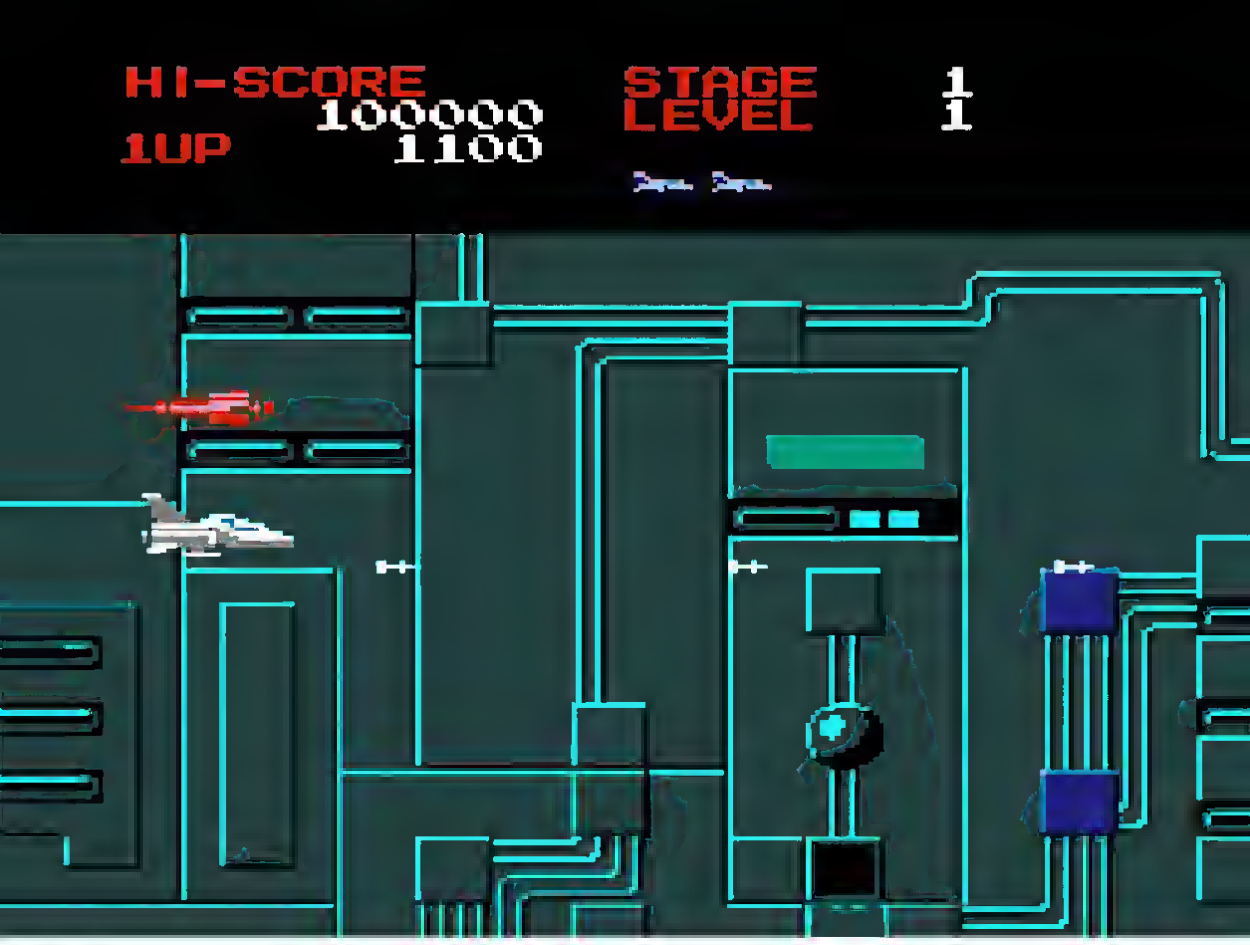
ジャンル
算数アクション

メーカー
東京書籍

発売日
86.10.30

定価
4,900円

小学生向けの学習ゲームシリーズの最終作。小数の割り算かけ算、分数の四則計算を、シューティングとアクションパズルを通して学ぶことができる。発売元の東京書籍は「新しい～」シリーズの教科書で知られる出版社。本シリーズでゲームに参入、後に子会社が「トンキンハウス」のレーベル名で『サイバーナイト』のようなRPGや、『Missing Blue』などのギャルゲーを販売した。



計算ゲームの「スペースファイター」は
シューティングからスタート。自機「T-56」で
敵を撃墜していくが、ここには計算要素は存在しない。

「よっちゃんのお花畑」では、画面上部にある
数式の「?」に該当する数字を振られたカゴの中に、
花を育ててできた実を運ばなければならない。

怒

ジャンル
アクション

メーカー
ケイアミューズメント／SNK

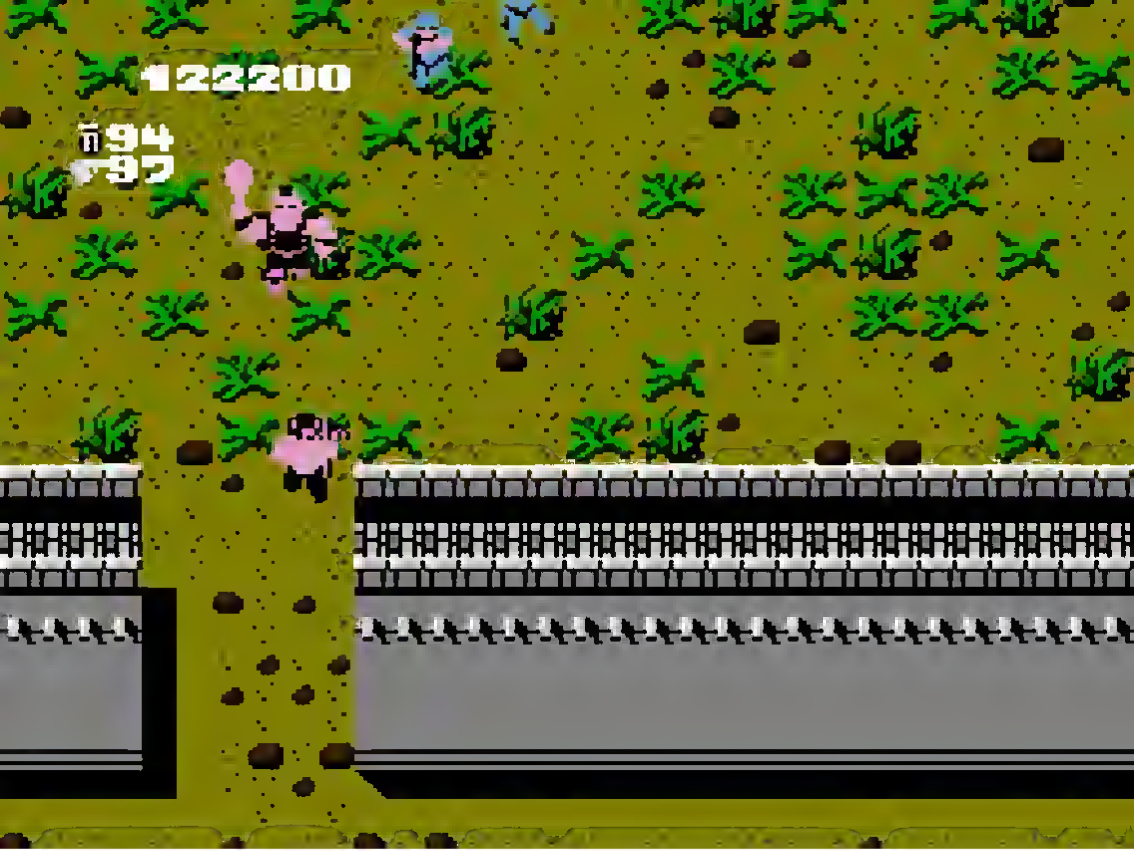
発売日
86.11.26

定価
5,500円

特殊部隊のラルフとクラークが、世界征服を企む秘密組織を倒すべく戦うアクションシューティング。アーケード版では頭部を回転させられる「ループレバー」で操作するゲームだったが、ファミコン版ではコントローラで遊ぶ。そのため、徒歩状態での操作感覚が大きく変化している。パッケージアートはマンガ家であるたがみよしひさ氏によるもの。海外では『IKARI WARRIOR』の名前で発売された。

上半身裸のラルフが、でかい銃を構えて大暴れ!
映画を思わせる設定のアクションゲームが『怒』だ。
画面左に鎮座するトーチカは弾をばらまく強敵。

生身の敵兵に向けて放たれた戦車砲の弾が炸裂!
人倫にもとる行為だが、戦争なので問題なし。
ジェリカンのマークを取ると戦車の燃料を補給できる。



棍棒片手に襲いかかってくるのは、
ファミコン版オリジナルキャラクターであるモヒカン男。
剣があれば体当たりされても大丈夫だが、なければ……。

ガルフォース エターナルストーリー

ジャンル
シューティング

メーカー
HAL研究所

発売日
86.12.10

定価
2,980円

模型雑誌『モデルグラフィック』での連載から始まり、映画、オリジナルビデオアニメ、小説などメディアミックスで展開したハードSF美少女アニメ・ガルフォースがシューティングゲームとしてファミコンにも登場！ ゲームスタート時に表示されるガルフォースのクルーの美麗なイラストは、後に発売される『メタルスレイダーグローリー』に繋がる何かを感じさせる。

開始早々、動きの速い敵の群と弾幕に追い込まれる。
ダメージ制でなれば到底しのげないレベルの
自機の当たり判定のデカさがクラシック。

ブリーダー

ジャンル
シミュレーション

メーカー
ソフトプロ

発売日
86.12.15

定価
2,980円

スクラップ&ビルド！　スクラップ&ビルド！　それをひたすらに繰り返し、最強の戦闘ロボ・メタルソルジャーを創り出せ！　ファミコン界のハードコアゲームの雄・ソフトプロがたったひとりで九〇年代ロボット開発ゲームブームを先取り。機体の特徴に合わせたパラメーター調整がキモとなり、友達や兄弟で作った機体同士が自動でバトルする様を見守る。

与えられたポイントの範囲内でカスタマイズした
ロボでバトル! トライ&エラーを繰り返して、
より強いロボを作り出せ!

メトロクロス

ジャンル
レース

メーカー
ナムコ

発売日
86.12.16

定価
3,900円

記憶を失った主人公が、何処とも知れぬ通路を走り続ける。タイムを競うレースゲーム的要素が強いが、プレイヤーが操作するのは車でなく人間という異色の作品。アーケードからの移植作で「スピードアップがストック式になり任意発動が可能に」「無敵アイテムが追加」「新たな敵や障害が登場し、一定条件を満たしてクリアするとバックマンなどの隠しキャラが出現する」といった違いが。

無人の通路を走る主人公。制限時間内に
ゴールへたどり着くのが目的だ。地面の落とし穴や
クラッカー、転がるカンなどが主人公の行く手を阻む。

スケートボードに乗った主人公。通常なら速度が落ちる
スリップゾーンを無効化することができるため、
タイムを短縮するには重要なアイテムだ。

奮闘むなしくタイムアップ。スパークが主人公を
焼き尽くしてしまう。主人公がなぜここまで
虐待されるのか気になるが、答えが語られることはない。

コスモジェネシス

ジャンル
シューティング

メーカー
アスキー

発売日
86.12.23

定価
4,900円

長い間ファミコン専門誌の発売予定リストに載っていた『3D－UGAUGA』が神秘のベールを脱ぐ！『スターラスター』の流れをくむ3Dスペースシューティング系スタートレックゲームが、細かいところで難易度をいろいろパワーアップして登場！　特にワープの煩雑さはプレイヤーに悪い予感を与えたが、後年になって操作の難しさのインフレという形でジャンル自体の絶滅を招く結果になった。

マニュアル操作! 跳躍距離が短い!
変なところにワープアウト!
三拍子揃った亜空間航行技術がプレイヤーを襲う。

謎のマガジンディスク ナゾラーランド

ジャンル
ディスクマガジン

メーカー
サン電子

発売日
87.2.6

定価
2,980円

サン電子がパソコンで巻き起こる一大ブームに先駆けて創刊した、パズルゲームを主体としたディスクマガジンがファミコンディスクシステムに登場！ 八本のゲームが掲載されている。ディスクシステムという低価格で書き換え可能なメディアを利用、まったく新しい雑誌とゲームを融合させた意欲作として、マルチメディア時代を先駆けていたといっても過言ではない。

ミニゲーム集の本作において、
最初に選んでしまいそうな『ファミコン適性検査』。
この出来が一番ヘボいというのはどうなのだろうか。

いきなりミュージシャン

ジャンル
音楽

メーカー
東京書籍

発売日
87.3.5

定価
4,900円

教科書販売で知られる、東京書籍の音楽ソフト。音楽ジャンルごとに出せる音が制限されているため、A・Bボタンで鍵盤を叩くだけで、必ず上手く演奏ができる仕組みとなっている。演奏を録音することもできるが、電源を切ると記録が消えてしまうため、生み出された音楽は基本的にその場限り。得点もゲームオーバーもないため、ゲームというよりは音楽ソフトに近いものとなっている。

伴奏に合わせてボタンを押せば自動でそれらしい演奏に。
右下のボタンで演奏を録音することができるが、
スイッチを切ると消えてしまう。

設定を変えることで、鍵盤を叩くとシャボン玉のような
泡が浮かぶようにもなる。いかにも楽しげで、
音楽に親しんでほしいという作り手の願いが伝わる。

さんまの名探偵

ジャンル
アドベンチャー

メーカー
ナムコ

発売日
87.4.2

定価
4,900円

吉本の社長宅で桂文珍が殺され（本人に無許可）関西きっての名探偵・さんまと助手のプレイヤーが、吉本のスター芸人たちを取り調べて真犯人の解明に乗り出すアドベンチャーゲーム。『パックマン』のナムコットらしく全体マップが表示される移動画面は直感的に操作しやすく、捜査パートでも理不尽な謎解きもなし。今いくよ・くるよや故・横山やすしのドット絵も特徴をつかんでいてグッド！

名探偵さんまの助手になって、桂文珍の殺人事件を捜査する。現場を調べるカーソルもカニ、ミニゲームも「ギャラクシガニ」でなぜかカニにこだわり。

額に青筋を浮かせた横山やすし師匠を
口パク有りのドット絵で完全再現!
ボートレースも遊べて、やっさん好きには最高である。

アップルタウン物語

ジャンル
人工知能ゲーム
メーカー
スクウェア
発売日
87.4.3
定価
3,400円

アメリカのアクティビジョンがアップルIIでスマッシュヒットさせた、人間の日常生活を観察する実験的人工知能ゲーム『リトル・コンピュータ・ピープル』を、ディスクシステムを盛り上げるパソコンゲームメーカー集団・DOGが換骨奪胎して大幅リニューアル！　小っさいオッサンとはザ・グッバイして、かわいい女の子を起用してタイトルまで変更する大胆さを見せる。

身も蓋もないことは重々承知だけれども、
やっぱり小っさいオッサンよりは女の子のほうが
モチベーションが上がるのは仕方がないことなのか?

アテナ

ジャンル
アクション

メーカー
SNK

発売日
87.6.5

定価
5,500円

当時珍しい美少女を主人公とした横スクロールアクション。魔物が跋扈する「幻想界」を舞台に、王女アテナが様々な武器で戦う。入手した装備で見た目が変化、人魚になるときもあるなど、コスプレ系ゲームのハシリ。当時のアイドルで、後にベイスターズの佐々木主浩と結婚することになる（現在は離婚）清水香織が歌う『サイコソルジャー』のカセットが同梱され、プレミア化した。

ビキニ一貫、「幻想界」へと降り立った王女アテナ。
ビキニでのバトルはファンタジーの定番だが、
本作では早急に防具を入手する必要がある。

レッドソード、そして黄金色の防具を身につけた
アテナがボスに挑む! レッドソードは剣でありながら
ビーム攻撃までできるありがたい武器だ。

手にした炎の剣は画面の広範囲をなぎ払う。
まさに最終兵器だが、使う度にライフが減っていく
という副作用があるため、常用することは不可能

夢工場 ドキドキパニック

ジャンル
アクション

メーカー
フジテレビ

発売日
87.7.10

定価
5,500円

フジテレビ恒例の夏のイベント『夢工場'87』のイメージキャラクター・イマジン一家がゲーム化！　四人の性能差があるイマジン一家からひとりを選び、生えている草や敵キャラクターを容赦なく引っこ抜いては投げてクリアを目指す。後に『スーパーマリオUSA』としてマリオシリーズとなり、ディスクシステムを持っていなくてもプレイできるようになった。

それぞれジャンプ性能や持ち上げたものの影響など、
能力が異なる４人のイマジン一家でプレイ！
若干他の任天堂ゲームとは趣が異なる。

夢幻戦士ヴァリス

ジャンル
アクション

メーカー
徳間書店

発売日
87.8.21

定価
5,500円

ごく普通の女子高校生だった優子は夢幻界の女王ヴァリアに頼まれ、魔王ログレスとの戦いに身を投じる……八〇年代のアニメで流行していたビキニアーマーをまとうヒロインが、ファンタジー世界で戦うアクションゲーム。原作のパソコン版はビジュアルシーンも充実した「ギャルゲーの始祖」だったが、ファミコン版はCGも削られ、マップも複雑怪奇にされてプレイヤーは悲鳴を上げた。

80年代テイストの長いスカートで街を走り回る優子。
1面ではダメージ軽減アイテムがないので、
2面でビキニ鎧を着る前に死にまくります。

ルパン三世 パンドラの遺産

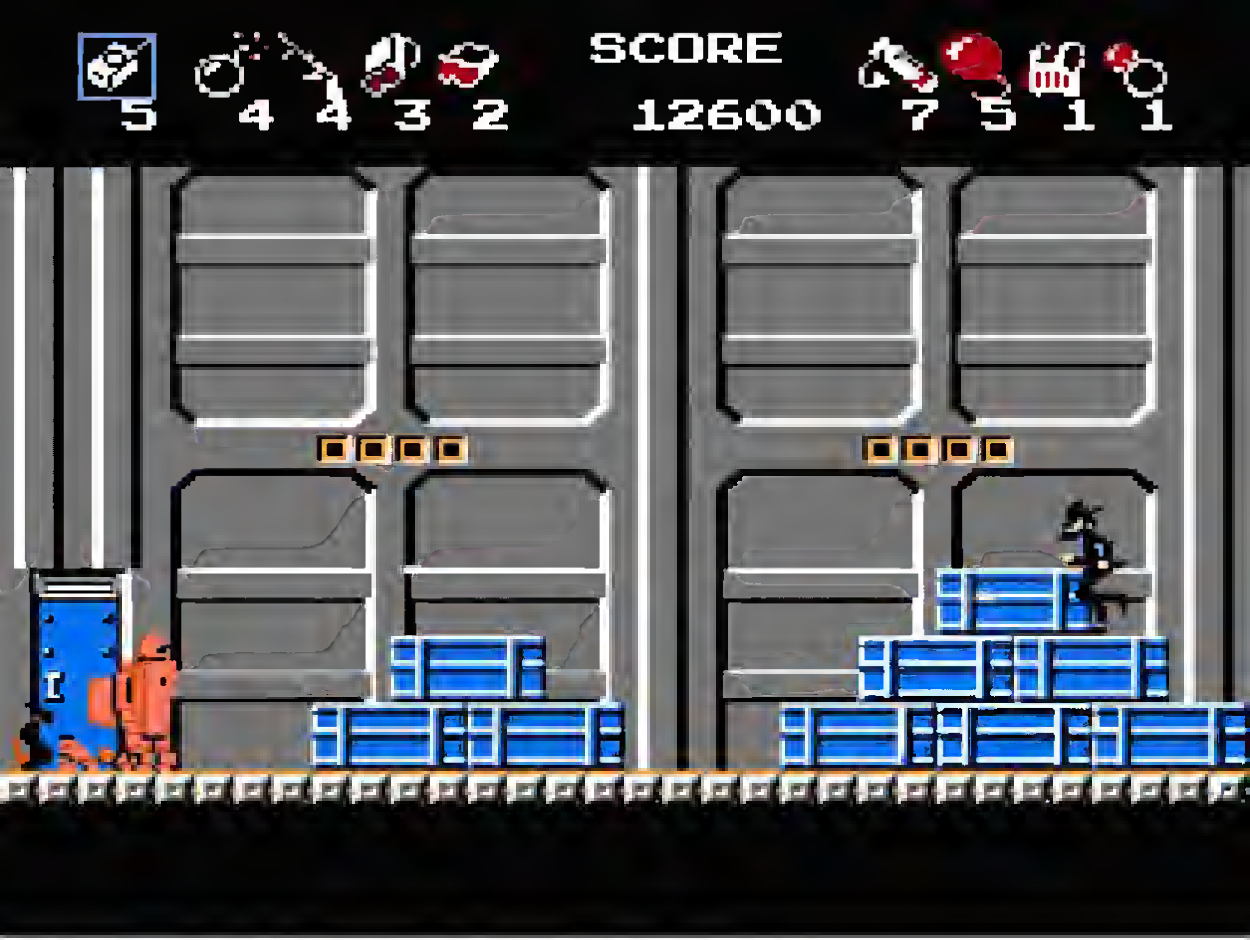
ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

発売日
87.11.6

定価
3,900円

秘宝『パンドラの遺産』を狙う悪党にさらわれた美少女クラリスを救出する横スクロールアクションゲーム。ストーリー的には宮崎駿監督の映画『カリオストロの城』の続編であり、ゲームシステムは同じナムコの『ローリングサンダー』を思わせる。それぞれ性能の違うルパン一味三人を使いわけるのだが、使用キャラによって会話が変わるなど、隅々まであふれる原作愛にニヤリ。



ルパン一味の３人が、TPOに応じて
トランシーバーで交代。
次元の長い射程と連射の効くマグナムは頼りになるぜ!

マイクタイソン・パンチアウト!!

ジャンル
アクション

メーカー
任天堂

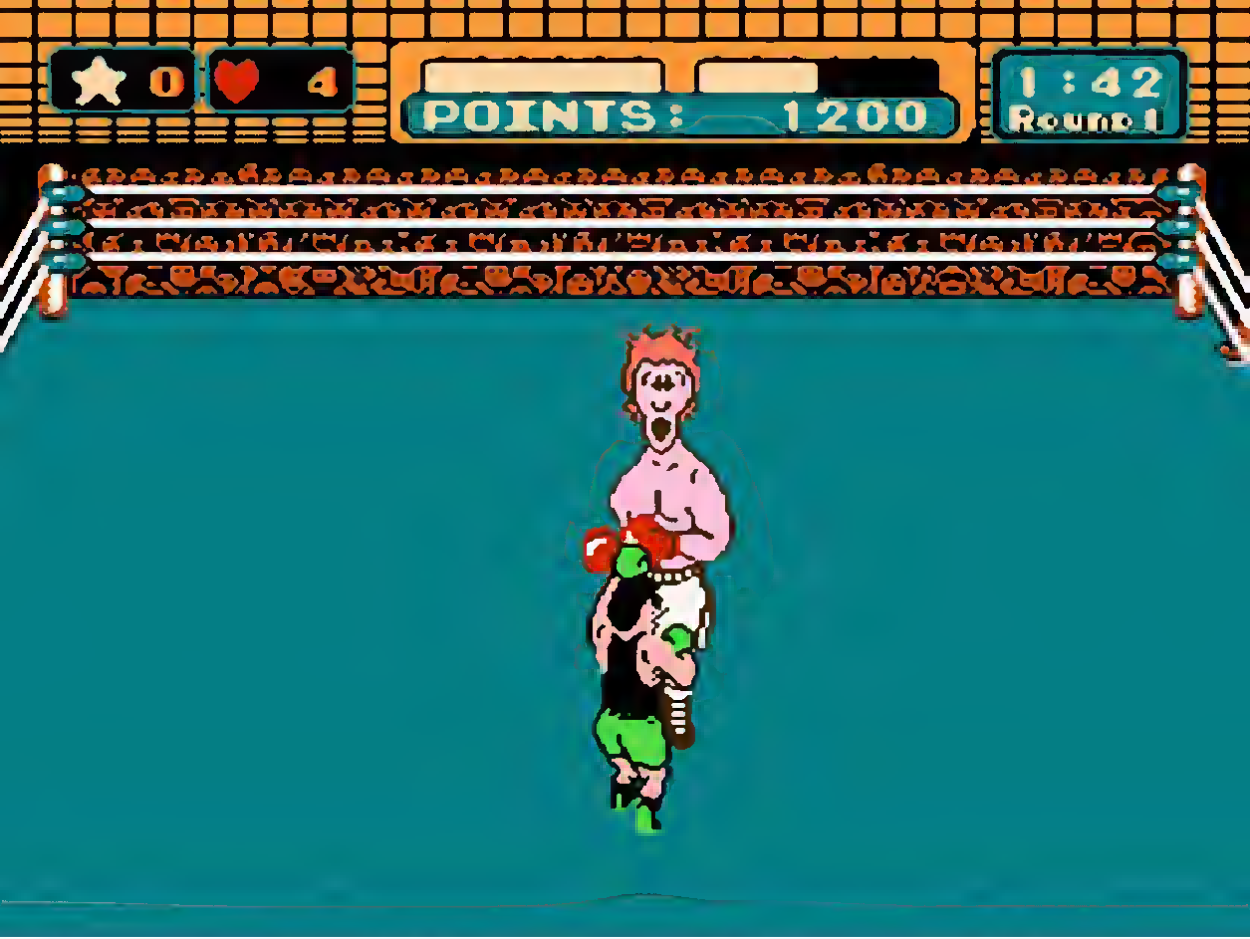
発売日
87.11.21

定価
5,500円

その出来の良さとアメリカ専売で国内では遊べず絶望の涙を呑んだ『パンチアウト!!』が『ゴルフUSコース』の賞品としてささやかに復活！　その後、最後のチャンピオンがマイク・タイソンとなって『マイクタイソン・パンチアウト!!』として日本国内でも正式発売された！　いまでいう「おま国（おまえの国では売ってやらねえ）」問題をいちはやく浮き彫りにした問題作。

リトルマック対グラスジョー。
「ガラスのアゴ」と弱点をさらしているから、
99敗もしているんではないだろうか。

アゴを粉砕されても立ち上がってくるグラスジョー。
その姿は「おまえの国には売ってやらねえ」
になりかけた日本のファンの執念にも似ている。



勢いに任せて打ち合うだけでは絶対に勝てないのが
『パンチアウト!!』というかリトルマック。
相手の弱点をしっかりと見極めてリングに沈めろ!

スター・ウォーズ

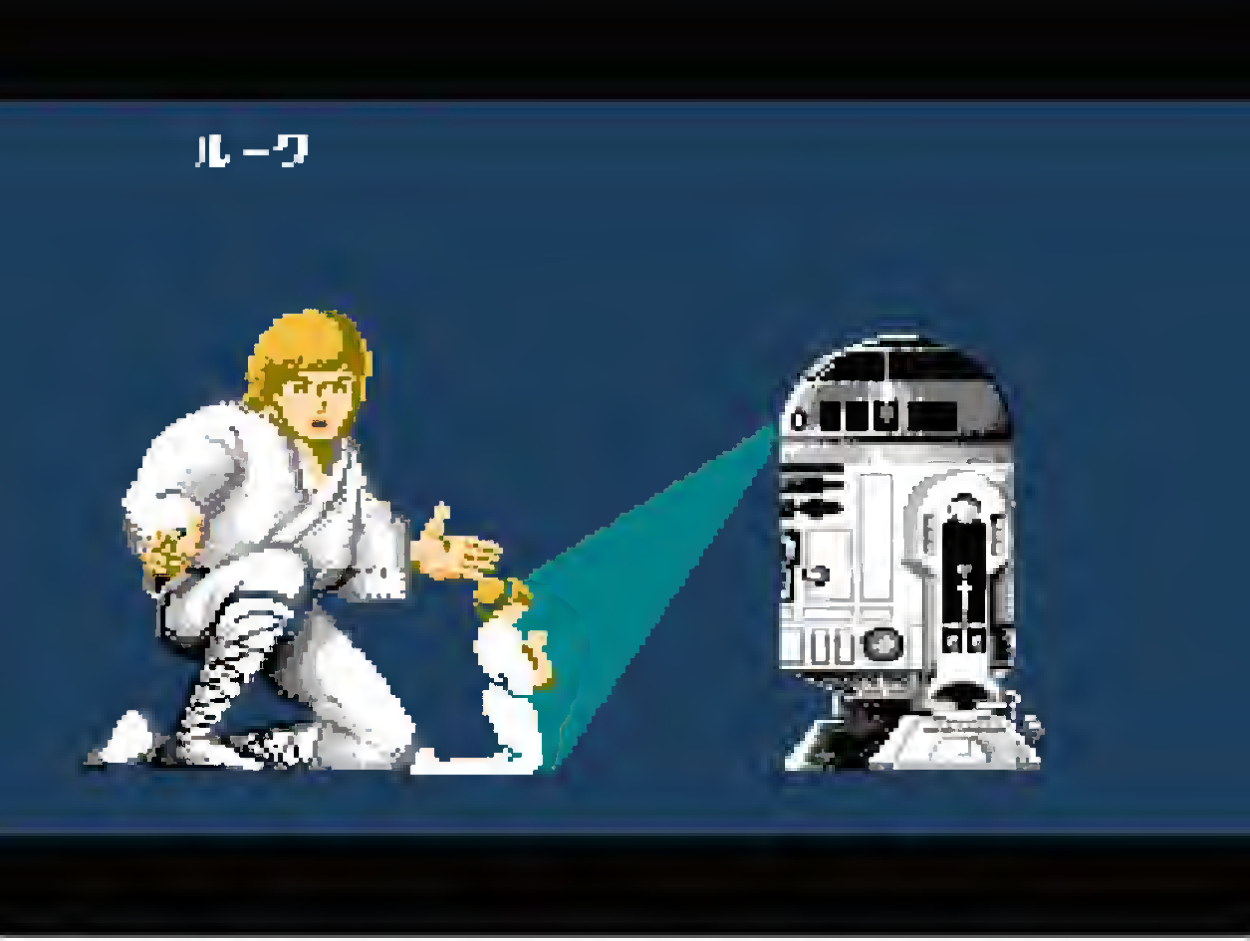
ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

発売日
87.12.4

定価
4,900円

「エピソード4だけが原作」のせいか、主人公のルーク・スカイウォーカーが映画版『スター・ウォーズ』では見たこともない星をめぐってダース・ベイダーのそっくりさんたちと戦う。「オレサマハサソリベイダーダ」に腰が抜けそうになるが、ところどころ原作愛があって憎みきれない。フォースが「道に落ちてるひし形を拾う」扱いもトホホで、劣悪な操作性×ステージの意地悪さでかなりの死にゲー。



拾ったR2-D2が映し出すホログラムでレイア姫の
メッセージを受け取るルークをファミコンで再現!
ビジュアルの頑張りはさすがナムコです。

オレサマハサソリベイダーダ!
思いっきり日本語を名乗られて腰が抜けるが、
この後に「ギャオスベイダー」も待ってるぞ。

アクションパートをクリアすると、惑星間を移動する
シューティングモードに。ミレニアムファルコンが
TIEファイターに一発で撃墜されて納得いかない!

メタルギア

ジャンル
アクション

メーカー
コナミ

発売日
87.12.22

定価
5,300円

世界初の「ステルス要素を完全に取り入れたゲーム」（ギネスブック認定）をファミコンに移植。ただし、生みの親の小島秀夫氏がタッチしてないところで……。「アイテムを取りに行くと敵に姿丸見え」など大胆すぎるアレンジによって、主人公スネークが敵をガンガンぶっ殺すステルスしないゲーに生まれ変わった。でも海外では大ヒットし、『メタルギア』シリーズ存続に貢献したという皮肉。

ピカピカの新兵だったスネークが、
特殊部隊「FOXHOUND」の仲間とパラシュートで降下。
ただし仲間はその後、出てきません。

従来の「敵と戦う」から「敵に見つからない」に
シフトしたステルスアクション。
見張りの交代はチャンスだ!

コチラ BIG BOSS……
イイワスレテ イタガ …
ガ スキタイ デ ハ ガ スマスク ガ
ヒツヨウ ダ 。

「ガス地帯ではガスマスクが必要だ」など、
ガス部屋に入ってから言う役に立たない
上司のBIGBOSS。正体はお察しです。

特別企画

海の向こうの超ファミコン事情
超NESゲームの世界

文=阿部広樹

ガーディック外伝

ジャンル
アクションRPG
+シューティング

メーカー
アイレム

発売日
88.2.5

定価
5,500円

コンパイルファンのMSXユーザーの間でも知る人ぞ知る『ガーディック』の外伝がファミコンに登場！ アクションRPGと縦スクロールシューティングを欲張りに合体させるも、きっちりとまとめ上げるのはさすがコンパイル。『ガーディック』の時点では尖ったシリおにぎりという認識だった自機が戦闘用美少女アンドロイドに華麗に変身！ ミリアの姿がプレイヤーの心に刻まれる一作。

アクションアドベンチャーステージの追加で、
ついに美少女形態への変形を果たしたミリアの雄姿!
もう設定詐欺とは言わせない!

キャプテンシルバー

ジャンル
アクション

メーカー
データイースト／セガ

発売日
88.7.2

定価
5,500円

同名のアーケードゲームをファミコン用にアレンジ移植したアクションゲーム。原作は「小動物に当たれば一発死」という『スペランカー』を超える虚弱体質の主人公だったが、ファミコン版は体力制になり、コンティニューも無限にできるため難度は劇的にダウン。しかしセガ・マークIII版が移植によってマトモになったと言われるのに対して、こちらは異常な世界がもっとおかしくなったと評判だ！

伝説の海賊･キャプテンシルバーの財宝を追っかける
ジム青年は、街の中にある噴水で溺死!
リンゴに当たって死亡したり意味不明な死因がいっぱい。

ゲーム中に出てくる唯一の女性のオババ。
邪魔するババァも出てくるが顔が一緒なので別人格?
エンディングのヒロインもこの人が若返った説が有力だ。

スーパーブラックオニキス

ジャンル
RPG

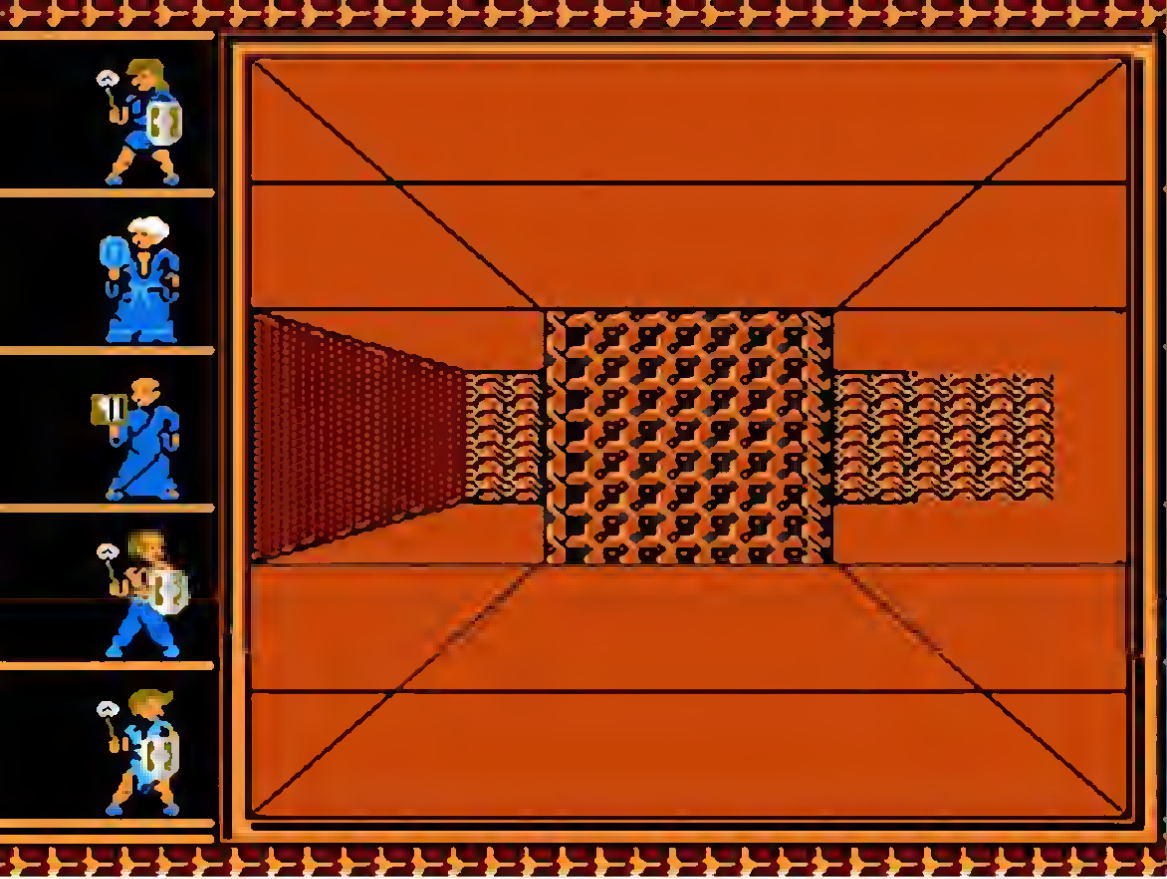
メーカー
BPS

発売日
88.7.14

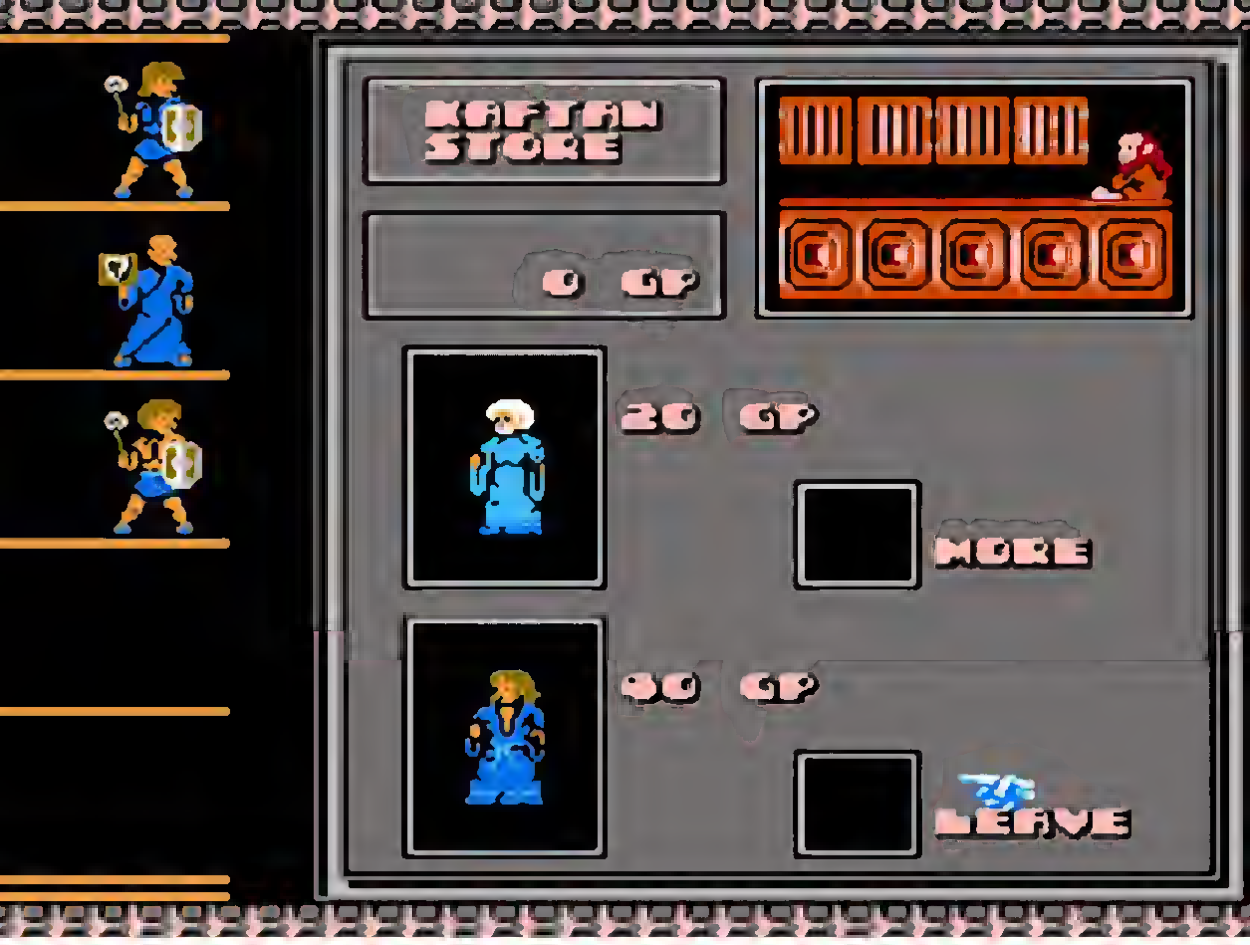
定価
5,900円

国産パソコンRPG大ブームの立役者『ザ・ブラックオニキス』が待望されすぎるほどに待望のファミコン化！『ドラクエ』以前の国産RPGブームを牽引した一本が、いろいろパワーアップしすぎたせいか若干のコレジャナイ感を漂わせていたことに戸惑った、パソコン版を知る古参RPGファンが後を絶たなかった。アクションゲームならまだしも、国産RPGのはずなのに全編英語である点も話題を呼んだ。

ひとりで町をうろつく冒険者を発見!
仲間に誘うか、皆でタコ殴りにするか?
それが問題だ!(とりあえず殺人は控えましょう)



フルメンバーになった御一行。
これでやっとオニキスを目指す旅に向かう決心が。
しかし、この中の何人が入れ替わってしまうのか？



見ての通り、全編これ英語オンリー。
過去のゲームには確かに英語のゲームが多かったけど、
国産RPGなのに全編英語は厳しすぎる仕打ち!

カイの冒険

ジャンル
アクション

メーカー
ナムコ

発売日
88.7.22

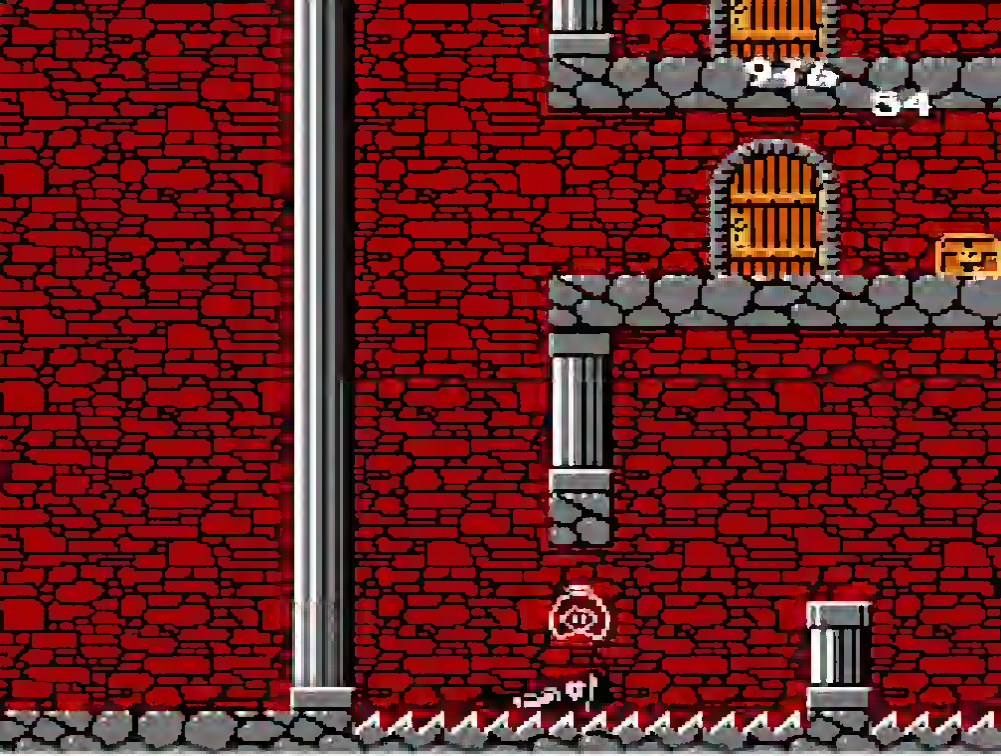
定価
3,900円

『ドルアーガの塔』と世界観を同じくする「バビロニアンキャッスルサーガ」シリーズの第三作。ストーリーの時系列的には『ドルアーガ』の前日譚を語る「エピソード0」であり、女神イシターから勇気を力に変えるティアラを与えられた巫女カイがドルアーガの塔を登り、最上階の六〇階にあるブルークリスタルロッドの奪還を目指す。六一階から始まるスペシャルステージが真の本編という声もアリ。

こうしてカイは　とうのさいじょうかいに
たどりつきましたが　ドルアーガのまりょくにやぶれ
ざんねんながら　イシにされてしまいました。

女神イシターに魔法のティアラを授けられたカイが
全60フロア（通常面）をクリアすると、
石にされるバッドエンド。オチはわかっていても衝撃。

エンディング後のスペシャルステージこそ本当の戦い。
『パックマン』などナムコゲームからゲストキャラが!
敵として! 帰れよ!



殺意しか感じないギザギザ床の上を通過しようとして
失敗したカイに涙。わざとぶつかって
ジャマな敵を消す「一カイ一殺」も時には必要だ。

三国志 中原の覇者

ジャンル
シミュレーション

メーカー
ナムコ

発売日
88.7.29

定価
6,900円

パソコンで大流行していた三国時代の歴史シミュレーションがついにファミコンに登場！パソコンとは違ったファミコン向けに洗練された操作性と、独自の戦闘システムが痛快。中国統一のために疾風怒濤の攻撃で敵国を攻め滅ぼすもよし、逆に内政に力を入れて国力をじっくり蓄えるのも自由という楽しみ方がファンを生んだ。ゲームから三国時代がメジャーになる時代の中で誕生した一作。

張飛が敵城に攻め込む。自軍の城内では、
行動力が２倍になるのがやっかいなので、
なんとかして敵を城からおびき出すのが勝負のカギに。

かならずや　テキを　けちらして
まいります

カンウ
キドウリョク　5

敵陣を包囲してタコ殴り。もはや的に残存兵力はない。
関羽と張飛がいれば大概の問題（だいたい戦争）は
カタがつくというのもすごい。

君主さえ倒せば残りのすべての領地と将兵をゲット!
曹操退場までたった4ヶ月という
驚くべきスピード滅亡を果たす。

スーパーマリオブラザーズ3

ジャンル
アクション

メーカー
任天堂

発売日
88.10.23

定価
6,500円

いまだ破られない世界最高の販売記録を持つ『スーパーマリオブラザーズ』の三作目にしてファミコン最高傑作のアクションゲームの声も高いのが『スーパーマリオブラザーズ3』！ その圧倒的な完成度は後のアクションゲームにあからさまに巨大なインパクトを与え、九〇年代に発売された完成度のインフレを起こしたファミコン用アクションゲームの目標となった。

『スーパーマリオ』もリニューアル!
デザインを一新し、さらに優れたデザインになった。
その完成度は、90年代のアクションゲームを先取り。

『スーパーマリオブラザーズ3』から採用された、
ワールド選択シーン。
移動するハンマーブロスがマリオの行く手を阻む。

突然！マッチョマン

ジャンル
アクション

メーカー
ビック東海

発売日
88.12.2

定価
5,800円

科学者のジャクソンを操作してステージ最後に潜むボスを倒す、戦闘寄りの横スクロールアクションゲーム。薬でマッチョ化することにより、超火力と高い耐久力を得るなど大幅パワーアップする。ボスは「ライオンの首」「人面樹」「巨大顔面」「ニメートルの宇宙人」などやたらとシュール。一見キワモノ的だが、クリアのためには計画性を持った戦略的プレイが要求される。

ひ弱なジャクソンが銃を構えてジャンプ!
マッチョ化した際の耐久力は得点で決まるため、
目の前にある1000点の得点アイテムが宝物に見える。

弾が切れると、銃を棍棒のようにして攻撃。
マッチョマークの「マッチョマックスペレー」は
逆転アイテム。手に入れれば任意にマッチョ化できる。

ボスを目前に「マッチョマックスペレー」でマッチョ化!
敵の攻撃を受けても平気、さらに攻撃力が激増するなど、
筋肉の恩恵が素晴らしい!

銀河英雄伝説 わが征くは星の大海

ジャンル
シミュレーション

メーカー
ケムコ

発売日
88.12.21

定価
5,900円

八〇年代のスペースオペラ最後の大作がゲーム化！ プレイヤーは腐っても民主主義の自由惑星同盟を殲滅するべく、ラインハルト・フォン・ローエングラムの率いる刷新された銀河帝国軍となり自由惑星同盟の旗手に選ばれたヤン・ウェンリーに戦いを挑む。原作内で展開された、流浪の王子の洗脳エピソードと重ね合わせてみて、ただの嫌がらせとして、いま改めて是非を問いたい熱い展開。

強力な移動力を誇る「疾風」ことミッターマイヤー。
しかし、それは下手すると単騎で突出、
ボコボコにされるという諸刃の剣でもある。

魁!!男塾 疾風一号生

ジャンル
アクション

メーカー
バンダイ

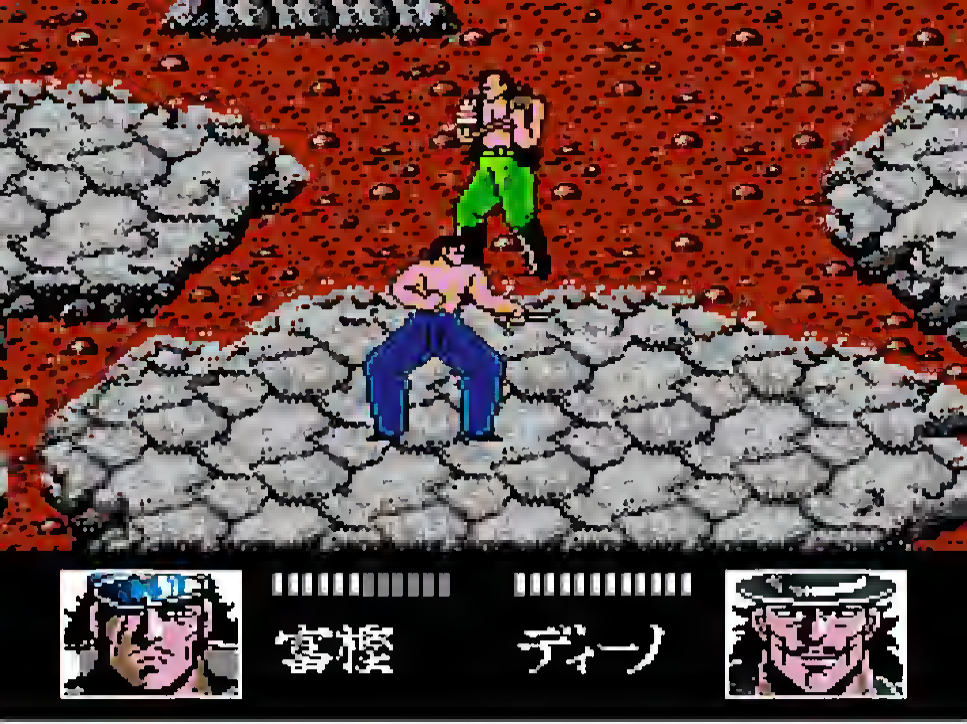
発売日
89.3.3

定価
5,800円

『少年ジャンプ』を代表するバトルマンガのひとつである『魁!!男塾』がファミコンに登場！　横スクロールアクションである道中面と、奥行きがあるステージで戦うボス戦で構成されている。『男塾』はアニメ化もされているが、本作の発売を待つことなく、わずか三四話で放送を終了している。そのためか、本作に登場するのは初期のキャラクターばかりなのが残念。

川の中を進む富樫。水中からはピラニアが
飛び出してきて行く手を阻む。さすがは狂気のシゴキで
知られる男塾のゲームだけに、トラップも過激だ。

男塾名物「大鐘音のエール」。友を思う塾生たちの気持ちが伝わり、Jの体力が回復する。右上に翻るのは、あがらずの塾旗。ポール含めて300kgの重さだ。



富樫対男爵ディーノ。原作では人気キャラクターである
ディーノだが、本作においても攻撃方法が
やたらと多彩で、作り手の愛情が感じられる仕上がり。

シャドウゲイト

ジャンル
アドベンチャー

メーカー
ケムコ

発売日
89.3.31

定価
6,200円

王家の末裔たるうっかり勇者が、無根拠な自信と松明だけを携えてシャドウゲートに挑む！　普通に通路を歩いて焼け死ぬうちはまだまだ序の口、嬉しいはずのイベントの裏でひそかに進行する、息詰まる行き詰まりの罠を回避しろ！　海外では歴史あるシリーズとして大ヒットし、何度も移植・続編が制作され、現在は3DS用のバーチャルコンソールでプレイ可能。

じゅもん

あつくて　がんじょうそうな　トビラだ。
「これで　サイクロップスを　たおせ」と　ちいさく
きざまれている。

理不尽な死と理不尽なうっかりを繰り返す、
王家の末裔だと言われたことがある人！よく考えたら、
何も持たずにシャドウゲート城に来ている。

美味しんぼ 究極のメニュー三本勝負

ジャンル
アドベンチャー

メーカー
シンセイ

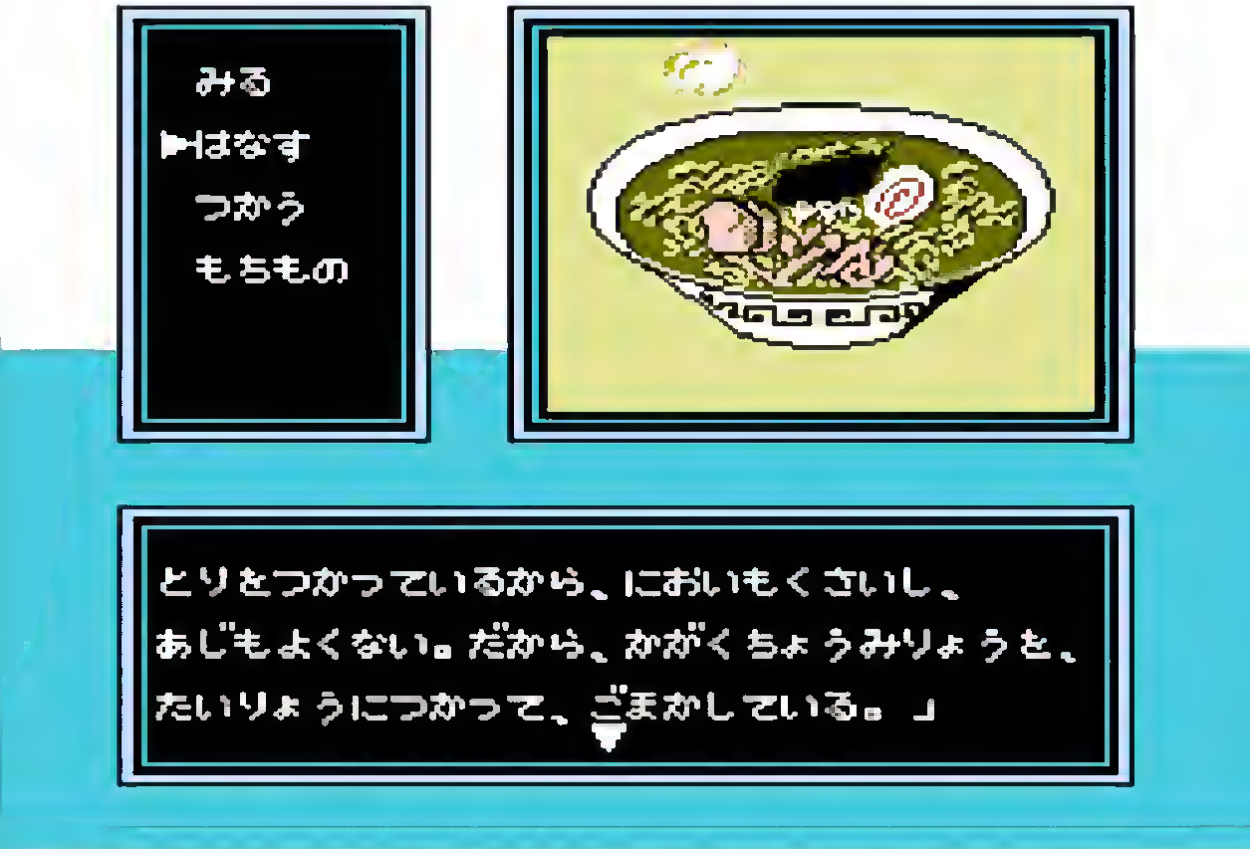
発売日
89.7.25

定価
5,800円

美食マンガの大ヒット作『美味しんぼ』初期の話をアレンジしたアドベンチャーゲーム。究極のメニューとして作る料理は原作と同じだが、そこにたどり着くまでに「アンキモ」の呪文を唱えたり、アンコウを捨てた山岡が世の中を嫌になったりとアバンギャルドな展開に。究極のラーメン作りを頼んだ京極さんの前で、ラーメンを「かとうなたべもの」呼ばわりする海原雄山も見どころだ。

料理屋を覗いてるところを警官に見咎められ、
「アンキモ、アンキモ、アンキモ」の呪文を唱える山岡。
もちろんスピード逮捕!

苦労して釣り上げた新鮮なアンコウを海に捨ててしまい、
突然世の中が嫌になった山岡。
こういうバッドエンドのほうが面白い。



大量生産のブロイラーを使ってるから匂いも臭い、
化学調味料を大量に使ってる！　と過激なエコ志向を
ぶち上げるのが『美味しんぼ』らしさ。

超人ウルトラベースボール

ジャンル
スポーツ

メーカー
カルチャーブレーン

発売日
89.10.27

定価
6,500円

野球マンガを思わせる「魔球」や「秘打」が使える野球ゲーム。ボールが消える、ボールを静止させる、二〇〇キロを越える剛速球を投げるなど荒唐無稽な試合が展開するが、「魔球」も「秘打」も無限に使い続けられるわけではないのがポイント。伝説の熱血野球マンガ『アストロ球団』へのオマージュがゲームの至るところにちりばめられているのも楽しい。

打者のバットを砕く魔球「ファイヤーボール」が
打者を襲う。野球マンガの華だが、野球ゲームでは
あまり見られない魔球を存分に投げられるのが本作。

「飛べ～！ 不死鳥～！」と大ジャンプを見せる
「ロケットジャンプ」はホームランすら捕球する。
まるで『アストロ球団』の超人守備だ。

田代まさしのプリンセスがいっぱい

ジャンル
アクション

メーカー
EPICソニー

発売日
89.10.27

定価
5,500円

なにかとお騒がせなマーシーこと田代まさしが、囚われの身となったプリンセスを助け出すために大活躍を繰り広げる横スクロールアクション……と書いただけで、いまとなってはツッコミ以外の要素が一切見当たらない伝説のファミコンゲーム。発売は『聖飢魔Ⅱ悪魔の逆襲』『TMネットワーク ライブ・イン・パワーホール』などコクのあり過ぎるゲームを多数リリースしたEPICソニー。

よりによってマーシーに救われたプリンセス。
イメージモデルに選ばれた小学生が
その後幸せになっていますように。

サンサーラ・ナーガ

ジャンル
RPG

メーカー
ビクター音楽産業

発売日
90.3.23

定価
7,500円

『機動警察パトレイバー』『攻殻機動隊』『アヴァロン』といった作品で、アニメーションの枠を超えて日本の映像シーンの可能性を示すことになる押井守・伊藤和典・川井憲次の三人がファミコンでRPGを手掛けた！　竜使いを目指す貧弱な主人公が、人間の身の限界に苦労させられながら竜を慈しみ育て上げていくことが、これでもかというほど味わえる一作。

何も持たずに街を飛び出す無鉄砲主人公!
人間は敵と戦っても経験値も何ももらえない
『ドラクエ』以前のRPG風の厳しすぎる序盤。

SDバトル大相撲 平成ヒーロー場所

ジャンル
スポーツ

メーカー
バンプレスト

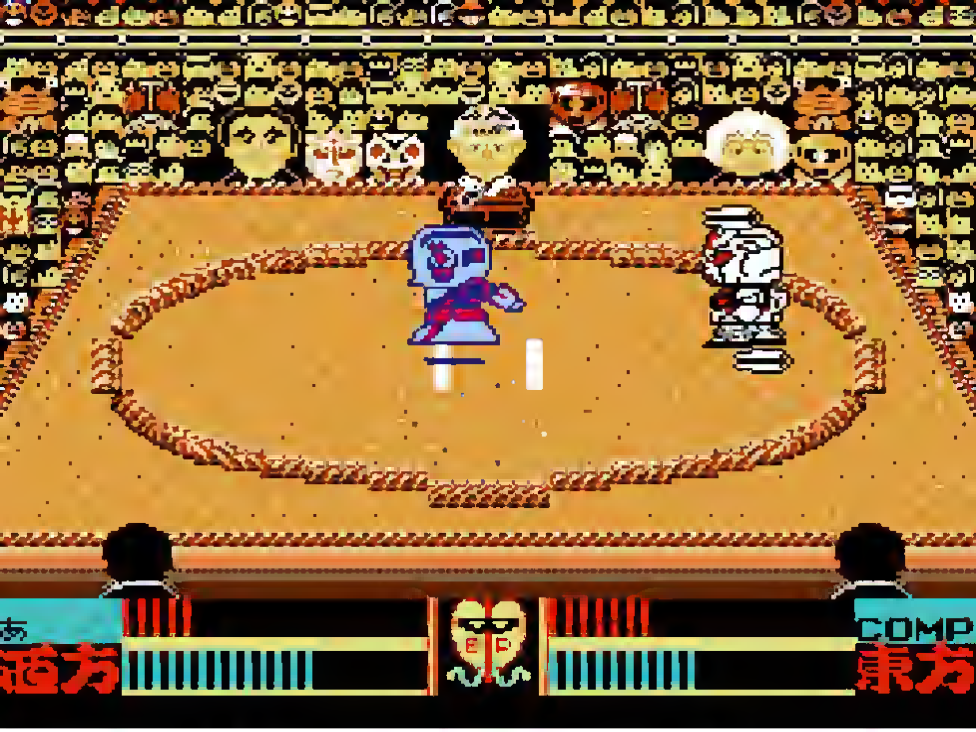
発売日
90.4.20

定価
6,300円

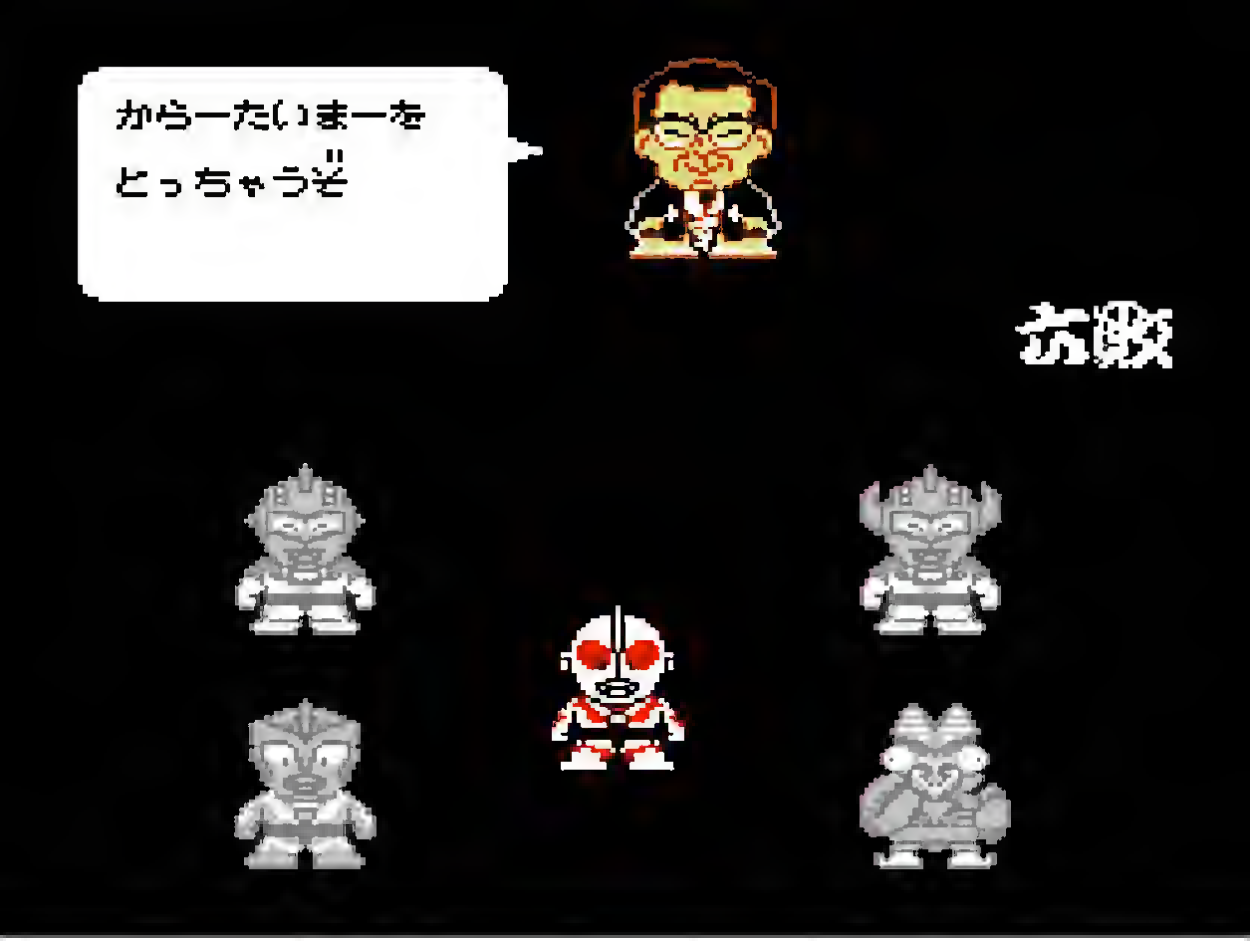
二頭身にデフォルメされた『カンダム』『ウルトラマン』『仮面ライダー』『スーパー戦隊』のキャラクターが相撲を取るというユニークなソフト。相撲ゲーム自体が珍しい上、夢の競演と言うことで注目を集めた。力士たちが原作に登場する必殺技を使ったり、仮面ライダーRXがロボライダーやバイオライダーに変身できるなど、キャラクターものとしての色彩が強い。

兄弟子たちに憧れるウルトラマン。
いつか横綱になる……という決意を胸に、
相撲道へと足を踏み入れることになる。伝説の幕開けだ。

仮面ライダーV3がガンダムmk-Ⅱにライダーキック!
まさに夢の豪華カードだ。
本作において跳び蹴りは反則ではなく、立派な必殺技だ。



νガンダムがジオングにフィンファンネル攻撃。
ジオングの下面はブースターのはずだが飛行不可。
重力に魂を引かれたかの如く、投げ技の影響を受ける。



「M78」部屋の「つぶらや」親方による、
厳しいアドバイス。本物の円谷英二氏ではなく、
SD化された別人なので問題ない。

ファイアーエムブレム 暗黒竜と光の剣

ジャンル
シミュレーション

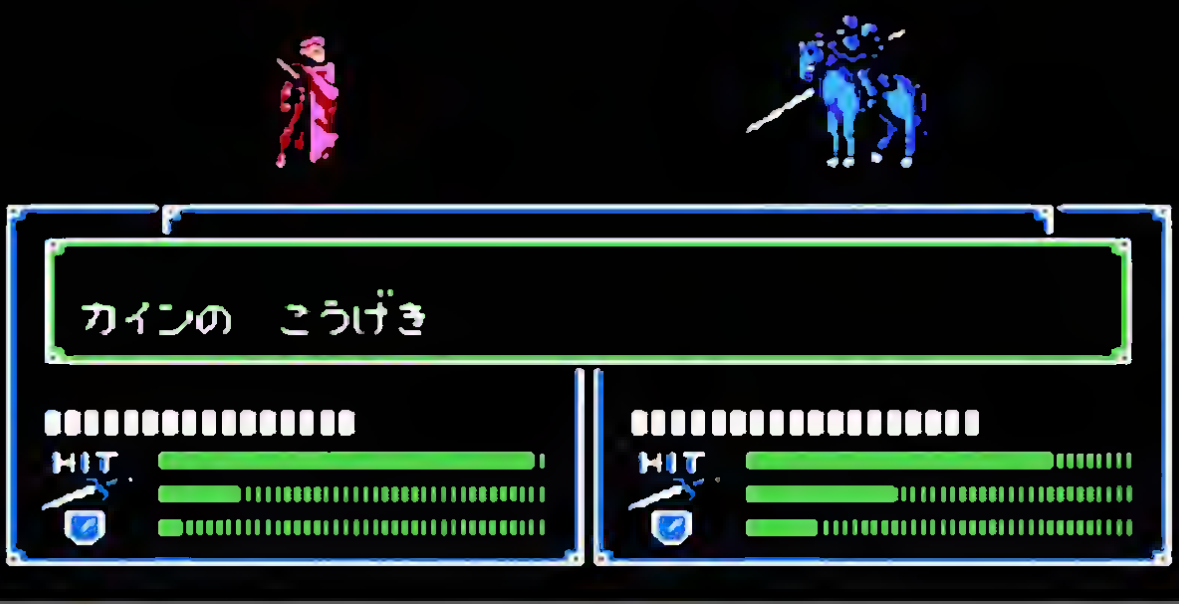
メーカー
任天堂

発売日
90.4.20

定価
6,000円

『ファミコンウォーズ』で任天堂のシミュレーションゲーム侮るべからず！ と強烈にゲーマーにアピールした任天堂が贈る、新機軸のファンタジーシミュレーションゲーム。ポイントは戦闘ユニットが喋ったり成長したりするキャラクターとして上手くRPG的要素として取り込まれたところ。本作以降、シミュレーションRPGというジャンルが急速に確立、日本製ゲームの一大ジャンルへと成長していくことになる。

シミュレーションRPGはここから始まった!
マルスの旅立ちに付き従う老騎士ジェイガン。
しかし、年寄りに頼りすぎると大変なことに。



マルスのもとに集まるすべての仲間には、
それぞれに思惑がある。仲間たちの思いを抱えて、
マルスの軍勢は力を増してゆく

燃えろ!! 柔道WARRIORS

ジャンル
スポーツ

メーカー
ジャレコ

発売日
90.6.29

定価
5,600円

プロ野球から始まったジャレコの『燃えろ!!○○○○』のスポーツシリーズにビリオドを打った最終作のテーマ、それは国民的な格闘技である柔道。国際的にも超メジャーだが袖の取り合いや投げや寝技といったキモをシステムに落とし込むのが難しく、格闘ゲーム的にマイナーな競技をどう料理するか。そんな期待に対してジャレコが下した判定は「ひたすら連打」だった!

たねきよし　いまからせかいにでて
おのれの　じゅうどうのわざに
みがきをかけてこい！
さいしょは　いろいろとたいへんだろうが
こんじょうで　がんばれ！

日本国内の選考会はすっ飛ばして、
世界で武者修行してこいと無茶振り。
でも体育会系で目上に口答えは許されないのであった。

どんな対戦相手でも連射が勝負を制する柔道の世界。
全員が同じ顔形なので
ヒラ選手と主将の区別がつかず混乱する。

ダウンタウンスペシャル くにおくんの時代劇だよ全員集合！

ジャンル
アクション

メーカー
テクノスジャパン

発売日
91.7.26

定価
6,500円

ファミコンといえば絶対外せない、テクノスジャパンの『熱血硬派くにおくん』シリーズが時代劇となって登場！ RPG要素を大盛りに盛り込んで『くにおくん』シリーズの中でもトップクラスの人気を誇る。移動、会話、戦闘シーンが自然に繋がるシームレスなアクションRPGとして、ゲームの新たな可能性を示していた革新的な作品と言える。とはいえ、シリーズに通底する凶悪コンビ協力プレイは本作でも健在で安心だ！

毎度おなじみくにおくんが今度は時代劇で活躍!
自動で助けてくれる同行者は、ひとりでプレイしても
友達とプレイしているような気分が味わえる。

ギミック！

ジャンル
アクション

メーカー
サンソフト

発売日
92.1.31

定価
6,200円

打倒スーパーファミコンのゲーム！　を旗印に、練りに練られたファミコンでのノウハウを総動員して開発された、ファミコン後期を飾る傑作鬼畜難易度アクションゲーム。かわいい見た目と裏腹に、普通に最初から殺る気マキシマムで坊ちゃんお嬢ちゃんをお出迎え。後に黎明期の日本インディーゲーム界の雄として知られる酒井智已氏の作品として、再評価される。

滑り落ちる先では針山がウェルカム。
最初から絶妙のコントローラさばきが要求されるのが
前提のゲームだということを教えてくれる親切設計。

ハローキティワールド

ジャンル
アクション

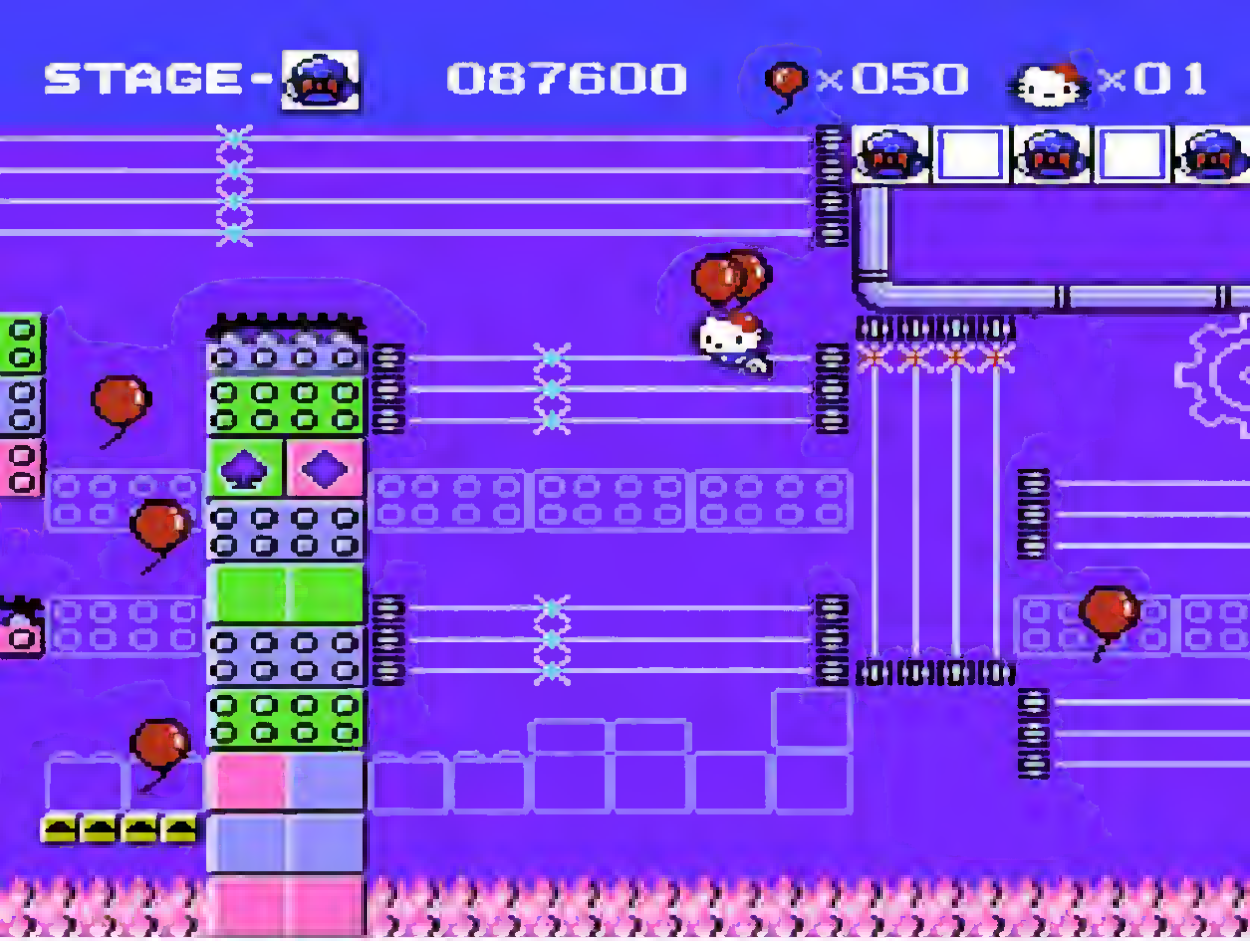
メーカー
キャラクターソフト

発売日
92.3.27

定価
4,800円

サンリオを代表する人気キャラクターの子猫キティが、風船をつけすぎて遠くまで流されてしまった友達のクマくんを助けるために冒険の旅に出る風船アクションゲーム。見た目はファンシーだが中味は『バルーンファイト』の続編であり、開発も実質的には任天堂スタッフが担当。「羊の革を被った狼」とも言われるハードルの高さに心を折られた子どもたちも少なくない。

そよ風に吹かれてふわふわと飛んでいくキティさん。
穏やかそうな最初のステージの中で、
すでに炎や天井のドリルが牙を剥いてます。



最終ステージではファンシーな装いはかなぐり捨てられ、
下は電流地獄で上は一発死の稲妻地獄。
女児にも容赦しない『バルーンファイト』魂!

ハローキティのおはなばたけ

ジャンル
アクション

メーカー
キャラクターソフト

発売日
92.12.11

定価
3,980円

日本を代表するキャラクター「ハローキティ」が、ジョウロ片手に花を咲かせていく。鉢植えに水をやり続ければ花が成長、すべての花を咲かせればステージクリア。全体的に可愛らしい雰囲気だが、中盤以降は難易度が上がる。本作の前に発売された『ハローキティワールド』は『バルーンファイト』のキャラクターを差し替えたものだが、こちらは完全オリジナル。

水浸しになった屋敷の中で鉢植えに水をやるキティさん。
足場を踏み外して水の中に落ちてしまうと
ミスになるため、慎重なジャンプが重要だ。

すべてのステージをクリアするとエンディングになる。
喜ぶキティさんと花々、そして天にかかった虹を見ると、
ここまでの苦労も消し飛ぶかのようだ。

PC原人

ジャンル
アクション

メーカー
ハドソン

発売日
93.7.20

定価
5,800円

ファミコンのマリオやメガドライブのソニックに並ぶPCエンジンの顔が、満を持してファミコンに出稼ぎ！　頭蓋骨の厚さなら誰にも負けないPC原人が多彩な頭突きで冒険する横スクロールアクションゲーム。最初はPCエンジンファンのマンガから始まった駄洒落キャラクターがアクションゲームの主役となり、層が薄かったとはいえPCエンジンを代表するアクションゲームシリーズにまで昇りつめた。

PCエンジンのほうから来ました!
アクションゲームの層は薄くても頭蓋骨の硬さなら
誰にも負けない原人がファミコンにも出稼ぎ。

企画別

ファミコンハンター、南武線を行く！

FAMICOM HUNTER GO TO NAMBU LINE

特別ゲスト＝押切蓮介

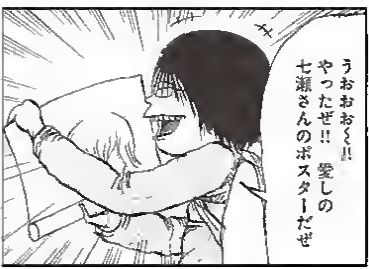
文＝多根清史

ファミコンハンター、南武線を行く！

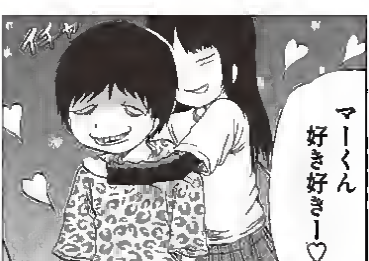
第一部　溝の口～川崎（一三時～一八時三〇分）

ファミコンハンター、南武線を行く！

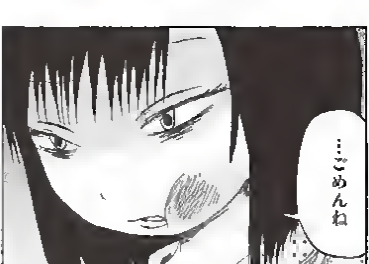
第二部　個室居酒屋つばきや（一九時～二二時三〇分）



七瀬優のポスターをゲットして
大喜びの中村君。



格ゲーの上手い男・マーくんが
童貞男たちのトキメキを打ち砕く。



ファミコンを譲ってくれた
初恋の美少女・貴音ちゃん。

ファミコンハンター、南武線を行く！

第三部 ウェアハウス川崎店（一二時～一三時三〇分）

TANE

ABE

YAMOTO

CHO-CHO-FAMICOM

箭本進一
阿部広樹
多根清史

超超ファミコン

太田出版